

令和6(2024)年度 競技力向上事業



目次

I 競技力向上事業の概要

栃木県競技力向上対策本部組織図・推進イメージ	1
栃木県競技力向上対策本部 令和6(2024)年度事業計画	2
栃木県競技力向上対策本部 令和6(2024)年度収支予算書	3
令和6(2024)年度競技力向上事業行事予定表	4
令和6(2024)年度競技力向上事業実施要項	6

II 競技力向上事業の事務手続き

令和6(2024)年度栃木県競技力向上事業費補助金事務手続き	33
栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱	34
栃木県競技力向上事業費補助金交付要領	38
令和6(2024)年度栃木県競技力向上事業費補助金対象経費等一覧	40
中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金交付要領	42
スポーツ用具整備事業実施要領	45
栃木県競技力向上対策本部後援名義等の使用承認に関する事務取扱要領	48

III 国民スポーツ大会関係

特別国民体育大会大会成績概況	53
国民スポーツ大会総合成績算出方法について	54
国民体育大会における本県総合成績の推移	55
国民体育大会における本県選手団競技得点の推移	56
国民体育(スポーツ)大会のあゆみ	57
第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会競技日程・会場・アクセス	59
第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会代表数一覧	60
第78回国民スポーツ大会競技日程・会場一覧	61
第79回国民スポーツ大会冬季大会競技日程・会場一覧	63

IV 資料

令和5(2023)年度全国中学校体育大会等の上位成績	65
令和5(2023)年度全国高等学校総合体育大会等の上位成績	66
令和6(2024)年度高等学校運動部活動拠点校一覧	67
栃木県競技力向上対策本部事務局案内図	68
関係連絡先一覧	69

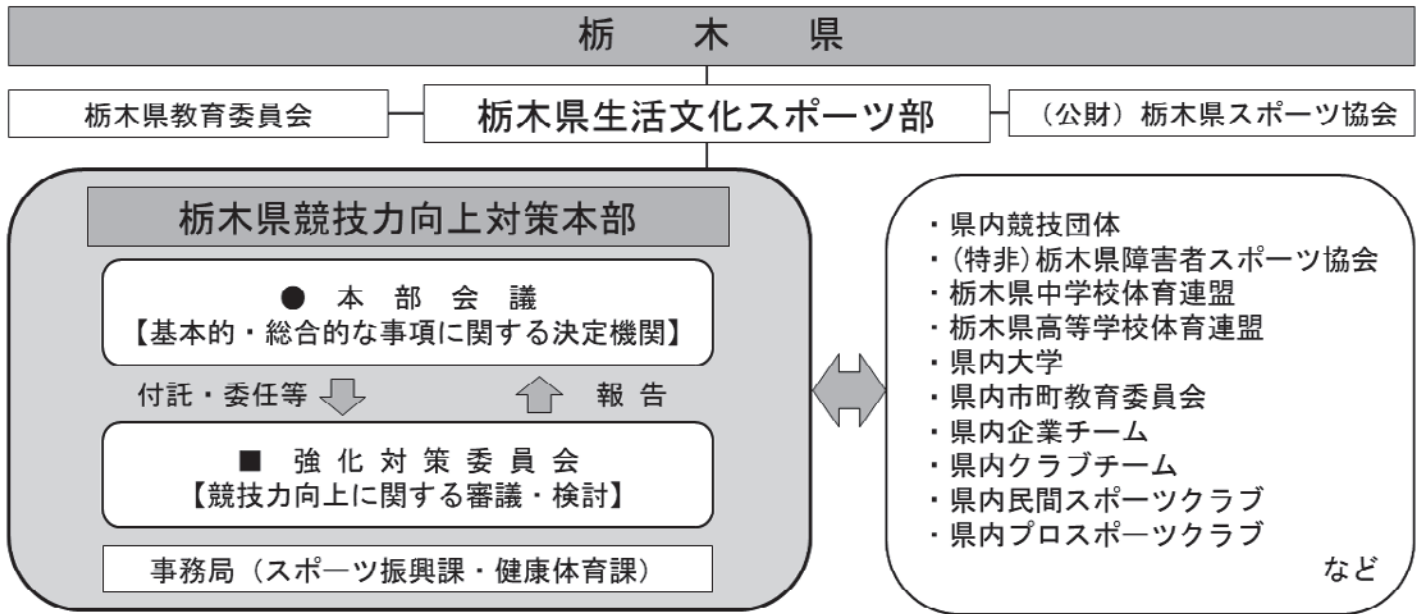
V 栃木県競技力向上基本計画

I

競技力向上事業の概要



栃木県競技力向上対策本部の組織図



栃木県競技力向上基本計画 推進イメージ

年度	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)
計画推進	とちぎ国体 とちぎ大会 開催	I 競技力の維持・組織運営体制の強化 II 次世代アスリートの発掘・育成・強化 III 指導者の養成・資質向上 IV スポーツ医・科学の活用		
目標		●国民体育(スポーツ)大会での上位維持 ●各種国際大会等への多数の選手輩出		2024パリ オリンピック パラリンピック
県	とちぎ未来創造プラン (R 3～R 7) ●いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を通じた人づくり			
教育委員会	とちぎ教育ビジョン (R 3～R 7) ●いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機としたスポーツの推進			
スポーツ 推進計画	とちぎスポーツ推進プラン (R 3～R 7) ●国民体育(スポーツ)大会・全国障害者スポーツ大会や 国際大会等で活躍する選手の育成 ○次世代アスリートの発掘・育成・強化 ○トップアスリートの強化・確保 ○競技力向上のための環境整備 ○安全でクリーンでフェアなスポーツの推進			

各種プラン・計画等の見直し

栃木県競技力向上対策本部
令和6(2024)年度事業計画(案)

単位：千円

柱	No	事業名		令和6 (2024)年度 予算	概要
I 競技力の維持・組織運営体制の強化	1	競技力向上対策本部の運営	継続	2,272	1 本部会議の開催 2 強化対策委員会の開催 3 国スポ視察・調査、対策本部の運営等
	2	チームとちぎ育成強化事業	継続	108,926	とちぎ国体の成果を一過性のものとせず、持続可能な競技力向上に向けて、競技団体が実施する強化合宿等に対する助成など 1 傷害保険加入費 2 競技団体に対する助成(41競技団体)
	3	有望選手・チーム強化支援事業	継続	30,560	全国・国際スポーツ大会等で活躍が期待される選手やチームの強化合宿等に対する助成 1 選手：A指定、B指定 2 チーム：S指定、A指定
	4	オリパラアスリート強化支援事業	継続	16,970	オリンピック・パラリンピック競技大会等の出場を目指す本県ゆかりのアスリートに対する強化支援
	5	アスリート就職支援事業	継続	47	成年選手の確保のため、国スポでの活躍が期待されるトップアスリートに対する県内企業等への就職を支援 1 無料職業紹介事業の実施 2 職業紹介所「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター」の運営
	6	スポーツ用具整備事業	継続	2,336	ルール改正や技術革新により整備が必要かつ競技の特性により必要な高額なスポーツ用具の貸与
II 次世代アスリートの発掘・育成・強化	7	タレント発掘・育成事業	継続	12,345	本県を代表するスポーツ選手を育成するため、発掘プログラム及び育成プログラムの実施など 1 タレント発掘・育成事業検討部会の開催 2 発掘プログラム(小学3年生)の実施 ステージ1(書類選考)→ステージ2(運動能力選考) →認定式(エクセレントキッズ) 3 育成プログラム(小4～中3年生)の実施 知的能力開発、身体能力開発、競技体験 4 パスウェイプログラムの実施 競技体験、エクセレントジュニア・保護者との三者面談(中学3年生)
	8	次世代アスリート育成強化事業	継続	36,727	未来の競技力向上の中心となる世代の育成・強化のため、競技団体が実施する強化練習会等に対する助成など 1 「チームとちぎジュニア選手」認定 競技団体の推薦→認定証授与式 2 競技団体に対する助成 遠征合宿や強化練習会の開催等 3 ジュニアクラブチーム強化指定 4 中体連に対する助成 普及啓発活動や強化練習会等
	9	高体連普及強化活動支援事業	継続	13,649	高体連が実施する各種強化支援活動に対する助成 高体連に対する助成 専門部基本普及活動 関東・全国大会開催特別強化 指導者養成、中・高・大連携事業
III 指導者の養成・資質向上	10	スポーツ指導員配置事業	継続	36,210	県内指導者のレベルアップのため、自身が優れた競技実績を持ち成年選手として活躍できる人材を指導者として受け入れ
	11	チームとちぎ指導者養成事業	継続	9,134	41競技団体・全種別の指導者の資質向上を図るための講習会の開催など 1 講師を招いてスポーツマネジメント等に関する研修を実施 2 指導者のガバナンスやコンプライアンスを強化するための取組 3 トップレベルの指導者を招へいして本県の指導者を育成
IV スポーツ医・科学の活用	12	スポーツ医・科学サポート事業	継続	22,015	国体等においてベストパフォーマンスを発揮するための支援 1 帯同トレーナー(公認アスレティックトレーナー)の派遣 (国スポ関東ブロック大会、本大会、冬季大会) 2 トップアスリートサポート(とちぎスポーツ医科学センターの利用) (チームサポート、アスリートサポート、U18サポート) (AC及びトレリハ・栄養・心理・医事に関するトータルサポート)
				291,191	

※ 6月に行われる栃木県競技力向上対策本部会議を経て決定。

栃木県競技力向上対策本部 令和6(2024)年度収支予算書(案)

1 収入

(単位：千円)

科 目	令和6 (2024)年度 予算額 (A)	令和5 (2023)年度 予算額 (B)	比較増減 (A-B)	備 考
栃木県負担金	291,191	285,140	6,051	
雑収入	1	1	0	預金利息
合 計	291,192	285,141	6,051	

2 支出

(単位：千円)

科 目	令和6 (2024)年度 予算額 (A)	令和5 (2023)年度 予算額 (B)	比較増減 (A-B)	備 考
1 とちぎ競技力向上事業費	288,919	282,927	5,992	
(1) 競技力の維持・組織運営体制の強化	158,839	154,025	4,814	
ア チームとちぎ育成強化事業費	108,926	108,945	▲ 19	
イ 有望選手・チーム強化支援事業費	30,560	31,760	▲ 1,200	
ウ オリパラアスリート強化支援事業	16,970	10,800	6,170	
エ アスリート就職支援事業	47	47	0	
オ スポーツ用具整備事業	2,336	2,473	▲ 137	
(2) 次世代アスリートの発掘・育成・強化	62,721	62,253	468	
ア タレント発掘・育成事業	12,345	12,213	132	
イ 次世代アスリート育成強化事業	36,727	37,020	▲ 293	
ウ 高体連普及強化活動支援事業	13,649	13,020	629	
(3) 指導者の養成・資質向上	45,344	45,213	131	
ア スポーツ指導員配置事業	36,210	36,071	139	
イ チームとちぎ指導者養成事業	9,134	9,142	▲ 8	
(4) スポーツ医・科学の活用	22,015	21,436	579	
ア スポーツ医・科学サポート事業	22,015	21,436	579	
2 競技力向上対策本部運営費	2,273	2,214	59	預金利息含む
合 計	291,192	285,141	6,051	

※ 6月に行われる栃木県競技力向上対策本部会議を経て決定。

令和6(2024)年度競技力向上事業 行事予定表

第1四半期 (4/1~6/30)				第2四半期 (7/1~9/30)							
4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	月	スポーツ指導員認定式(県庁)	水		土	関東プロ(カヌー[SL、WW]~2日)	月		木	関東プロ(水泳(水球)~4日)	日
2	火		木		日		火		金		月
3	水		金	憲法記念日	月		水		土		火
4	木		土	みどりの日	火		木		日		水
5	金		日	こどもの日	水		金		月		木
6	土		月	振替休日	木		土	関東プロ(カヌー[SS]~7日、スポーツクライミング~7日)	火		金
7	日		火		金		日		水		土
8	月		水		土		月		木		日
9	火		木		日		火		金		月
10	水		金		月		水		土	関東プロ(サッカー【成年】【少年】~11日)	火
11	木		土		火		木		日	山の日	水
12	金		日		水		金	関東プロ(新体操~13日、ローイング~13日)	月	振替休日	木
13	土		月		木		土	関東プロ(体操~14日、トランポリン、ボウリング~14日)	火		金
14	日		火		金		日	関東プロ(水泳[アーティスティックスイミング]、トランポリン、なぎなた)	水		土
15	月	競技団体代表者会議・第1回チームとちぎ指導者資質向上研修会(PM:総合教育センター)	水		土		月	海の日	木		日
16	火		木		日		火		金	関東プロ(ウエイトリフティング~19日、ソフトテニス~18日)	月
17	水		金		月		水		土	全国中学校体育大会(~8/25:福井) 関東プロ(サッカー【少女】~18日、ソフトテニス~18日、卓球~18日、フェンシング~18日、ソフトボール~18日、バドミントン~18日、ライフル射撃~18日)	火
18	木		土		火		木		日	関東プロ(柔道、弓道、アーチェリー、銃剣道)	水
19	金		日		水		金		月		木
20	土	とちぎ未来アスリート開典式(総合教育センター)	月		木	関東プロ(ゴルフ)	土	関東プロ(ビーチバレーボール~21日)	火		金
21	日		火		金		日	全国高等学校総合体育大会(~8/20:九州)	水		土
22	月		水		土	関東プロ(空手道)	月		木		日
23	火		木		日		火	パリオリンピック(~8/11)	金	関東プロ(ホッケー~26日、ハンドボール~25日、ラグビーフットボール【少年】~25日)	月
24	水		金		月		水		土	関東プロ(バレーボール【成年・男女】24日【少年男女】~25日、バスケットボール~25日、軟式野球~25日※予備日25日、剣道、ラグビーフットボール【成年】)	火
25	木		土		火		木		日	関東プロ(ラグビーフットボール【女子】)	水
26	金		日		水		金		月		木
27	土		月		木	本部会議(県庁)	土		火		金
28	日		火		金		日		水	パリパラリンピック(~8/8)	土
29	月	昭和の日	水		土	関東プロ(馬術~30日)	月		木		日
30	火		木		日		火		金		月
31			金				水		土	チームとちぎジュニア選手認定監視与式(総合文化センター)	
第78回国民スポーツ大会 (SAGA2024)											
4月		5月		6月		7月		8月		9月	

令和6(2024)年度競技力向上事業 行事予定表

第3四半期 (10/1~12/31)				第4四半期 (1/1~3/31)							
10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火	金		日		水	元日	土		土	
2	水	土		月		木		日		日	
3	木	日	文化の日	火		金		月		月	
4	金	月	振替休日	水		土		火		火	
5	土	火		木		日		水		水	
6	日	水		金	関東プロ(アイスホッケー【少年】~8日)	月		木		木	
7	月	木		土		火		金		金	
8	火	金		日		水		土		土	
9	水	土	とちぎ未来アスリートプロジェクトステージ2(日曜アリーナ)	月		木		日		日	
10	木	日		火		金		月		月	第2回強化対策委員会(県庁)
11	金	月		水		土		火	建国記念の日	火	
12	土	火		木		日		水		水	
13	日	水		金	関東プロ(アイスホッケー【成年】~15日)	月	成人の日	木	第79回国スポ冬季大会(秋田)(スキー~16日)	木	
14	月	木		土		火		金		金	
15	火	金		日		水		土		土	とちぎ未来アスリート修了式・観望式(総合教育センター)
16	水	土		月		木		日		日	
17	木	日		火		金		月		月	
18	金	月		水		土		火		火	
19	土	火		木		日		水		水	
20	日	水		金		月		木		木	春分の日
21	月	木		土		火		金		金	
22	火	金		日		水		土		土	
23	水	土	勤労感謝の日	月		木		日	天皇誕生日	日	
24	木	日		火		金		月	振替休日	月	
25	金	月		水		土		火		火	
26	土	火		木		日	第79回国スポ冬季大会(岡山、群馬)(スケート・アイスホッケー~2/5)	水		水	
27	日	水		金		月		木		木	
28	月	木		土		火		金		金	
29	火	金		日		水				土	
30	水	土		月		木				日	
31	木			火		金				月	
第78回国民スポーツ大会(SAGA2024)		第79回国民スポーツ大会 冬季大会				第79回国民スポーツ大会 冬季大会					
第79回国民スポーツ大会 冬季大会 県予選会・選考会											
10月	11月	12月	1月	2月	3月						

令和6(2024)年度 競技力向上事業実施要項

チームとちぎ育成強化事業	7
有望選手・チーム強化支援事業	8
オリパラアスリート強化支援事業	13
アスリート就職支援事業	15
スポーツ用具整備事業	18
タレント発掘・育成事業	20
次世代アスリート育成強化事業	21
高体連普及強化活動支援事業	24
スポーツ指導員配置事業	25
チームとちぎ指導者資質向上事業	27
トップレベルコーチ招へい事業	28
スポーツ医・科学サポート事業	31



チームとちぎ育成強化事業 実施要項

1 目的

とちぎ国体の成果を一過性のものとせず、持続可能な競技力の向上を図るために、国民スポーツ大会や各種大会等での活躍に向けて、競技団体の年間を通じた強化・普及活動を支援することにより、全ての競技・種別の競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【補助事業】

- (1) 競技団体が行う国民スポーツ大会や各種大会等の活躍を目的に行う強化・普及活動の経費の一部の支援。各競技団体が計画した事業計画に応じて強化費を配分する。
- (2) 補助対象は、競技団体が実施する以下の事業とする。
 - ① 国民スポーツ大会や各種大会等での活躍を目的とした県内外の強化練習会や強化合宿等
 - ② とちぎスポーツ医科学センターの利用料
 - ③ 競技力向上の一環となる大会の参加及び、競技力向上等を目的とした大会の開催
 - ④ 県外強豪チームを本県に招へいして行う強化試合や合同練習会等
 - ⑤ 発掘イベント及び普及啓発活動（スポーツ教室・体験教室）の開催等
 - ⑥ 中央競技団体が主催する各種研修会への参加
 - ⑦ 各種大会等の視察及び戦力分析・データ収集等
 - ⑧ 国民スポーツ大会や各種大会等へのコーチ・ドクター・トレーナー等の派遣
 - ⑨ 国民スポーツ大会や各種大会等エントリー選手のスポーツ安全保険への加入
 - ⑩ その他本部長が認める事業

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費、県外チーム旅費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

5 スケジュール

通年 競技団体の事業計画に応じた強化活動支援

《選手指定》

1 目的

国民スポーツ大会にて本県選手として特に活躍が見込まれ、かつ全国・国際スポーツ大会等で活躍することが期待できるトップアスリートを指定し、合宿や強化練習会等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、国民スポーツ大会での天皇杯・皇后杯上位入賞に向けた選手の計画的な競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会正式競技に取り組んでいる高校生・大学生及び社会人で、国民スポーツ大会等で主力選手として見込まれ、特に活躍が期待できる選手。

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査し選手を指定する（※指定のみの選手もあり）。推薦される選手は、指定日を基準に過去2年間に、以下の実績を持つ選手とする。原則として、個人競技から指定する。

【A強化指定】（成年種別）

- ・国内最高峰の大会で上位入賞の実績があり、国民スポーツ大会、日本選手権等での入賞が期待できる選手。
- ・対策本部長が別に認める選手。

【B強化指定】（少年種別）

- ・各種全国大会で上位入賞の実績があり、国民スポーツ大会、インターハイ等での入賞が期待できる選手。
- ・対策本部長が別に認める選手。

4 補助対象経費（※指定のみの選手を除く）

指定された選手には、国民スポーツ大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、報償費（コーチ料）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、県内に居住するための家賃・寮費、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

4月	有望選手の指定
通年	強化活動支援

《チーム指定》

1 目的

国民スポーツ大会において天皇杯・皇后杯の上位入賞を目指し、各競技の強化の中心となり活躍が期待できるチーム、かつトップカテゴリーで活躍できるチームを指定し、重点的に成年選手の競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会正式競技で、国民スポーツ大会等において当該チームやそのチームに所属する選手の活躍により、入賞が期待できる競技に属する大学・企業・クラブチーム。

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査しチームを指定する（※指定のみのチームもあり）。

【S強化指定】 原則、次のいずれかに該当するチーム。

- ・国内最高峰の大会において入賞の実績があり、国民スポーツ大会等において入賞が期待できるチーム。
- ・国内トップレベルの競技力を有する中心選手が複数名所属し、国民スポーツ大会等において上位入賞が期待できるチーム。

【A強化指定】

- ・各種全国大会（全日本（大学を含む）選手権大会等）において入賞実績があり、国民スポーツ大会等において活躍が期待できるチーム。

4 補助対象経費（※指定のみのチームを除く）

指定されたチームは、国民スポーツ大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

4月	有望チームの指定
通年	強化活動支援

令和6(2024)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望選手

No.	指定	競技名	選手名	種別	所属
1	A指定	スケート	小川 拓朗	成男	(公財) 栃木県スポーツ協会
2		スケート	上鹿 渡双葉	成女	(公財) 栃木県スポーツ協会
3		スキー	小番 聖夏	成女	宇都宮スキークラブ
4		スキー	横尾 彩乃	成女	日本大学
5		陸上競技	内藤 未唯	成女	神奈川大学
6		陸上競技	竹内 萌	成女	(株) カンセキ
7		陸上競技	大島 愛梨	成女	宇都宮市役所
8		陸上競技	桑添 友花	成女	日本栄養給食協会
9		陸上競技	高田 遼雅	成男	日本大学
10		テニス	今西 美晴	成女	(公財) 栃木県スポーツ協会
11		テニス	森崎 可南子	成女	橋本ホールディング
12		ローイング	※ 飯塚 百合子	成女	立教大学
13		ローイング	※ 藤倉 望妃	成女	早稲田大学
14		ローイング	岡部 華林	成女	明治大学
15		ボクシング	平塚 駿之介	成男	駒澤大学
16		ボクシング	鈴木 美結	成女	自衛隊体育学校
17		体操	山田 大翔	成男	(公財) 栃木県スポーツ協会
18		体操	佐藤 優菜	成女	FIPS/フリーエアースポーツクラブ
19		体操	川口 雄飛	成男	駒澤大学
20		レスリング	矢部 和希	成男	(公財) 栃木県スポーツ協会
21		レスリング	大関 寛穂	成男	国士舘大学
22		レスリング	植木 優斗	成男	東洋大学
23		レスリング	中原 陸	成男	大東文化大学
24		レスリング	市川 アンディー	成男	足利消防署
25		レスリング	長谷川 虎次郎	成男	育英大学
26		レスリング	新井 一花	成女	育英大学
27		レスリング	本橋 知大	成男	拓殖大学
28		セーリング	小松 大悟	成男	本田技研工業(株)
29		セーリング	井上 隆	成男	神奈川大学TEARS
30		ウエイトリフティング	山根 大地	成男	自衛隊体育学校
31		ウエイトリフティング	小堀 美穂	成女	宇都宮市役所
32		ウエイトリフティング	大塚 優子	成女	自衛隊体育学校
33		ウエイトリフティング	山根 緑	成女	一般社団法人 ASKA
34		自転車	町田 颯	成男	日本大学
35		馬術	広田 龍馬	成男	那須トレーニングファーム
36		馬術	増山 誠倫	成男	小山乗馬クラブ
37		馬術	駒津 眞希	成男	栃の葉乗馬クラブ
38		馬術	鈴木 直人	成男	鍋掛牧場
39		馬術	増山 久佳	成女	小山乗馬クラブ
40		馬術	広田 思乃	成女	那須トレーニングファーム
41		馬術	金城 友	成女	筑波ライディングパークインターナショナル
42		馬術	飯田 さや	成女	壬生乗馬クラブ
43		フェンシング	萩原 宏樹	成男	栃木商業高校(教)
44		柔道	蓮尾 沙樹	成女	北関東総合警備保障(株)
45		柔道	石塚 早稀	成女	北関東総合警備保障(株)

令和6(2024)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望選手

No.	指定	競技名	選手名	種別	所属	
46	A指定	柔道	大谷 麻稀	成女	北関東総合警備保障(株)	
47		柔道	山口 芽留	成女	北関東総合警備保障(株)	
48		柔道	齋五 澤航介	成男		
49		バドミントン	寺田 真也	成男	鹿沼商工高校(教)	
50		バドミントン	櫻井 理湖	成女	法政大学	
51		バドミントン	須崎 沙織	成女	筑波大学	
52		弓道	五十 嵐翔	成男	栃木県弓道連盟	
53		弓道	犬塚 友佳子	成女	(公財)栃木県スポーツ協会	
54		弓道	滝田 実優	成女	宇都宮大学大学院	
55		ライフル射撃	小林 郁弥	成男	スポーツ健康医療専門学校	
56		剣道	鈴木 瑞生	成女	鹿沼高等学校(教)	
57		スポーツクライミング	川又 玲瑛	成男	TEAM B-PUMP	
58		スポーツクライミング	関口 準太	成男	日本大学	
59		スポーツクライミング	葛生 真白	成女	白鷗大学	
60		カヌー	富沢 くるみ	成女	(公財)栃木県スポーツ協会	
61		銃剣道	藤原 考貴	成男	陸上自衛隊東部方面特科連隊	
62		クレー射撃	折原 研二	成男	(株)那須国際射撃場	
63		ゴルフ	横山 珠々奈	成女	フリー	
64		B指定	スキー	大西 美琴	少女	足利大学附属高等学校
65			スキー	深澤 ひなた	少女	足利大学附属高等学校
66			スキー	井口 花	少女	足利大学附属高等学校
67			陸上競技	※ 若菜 敬	少年	佐野高等学校
68			陸上競技	※ 渡邊 栞里	少女	作新学院高等学校
69			陸上競技	小林 琉空	少年	宇都宮南高等学校
70			陸上競技	石原 南菜	少女	白鷗大学足利高等学校
71			陸上競技	諏訪 彩乃	少女	白鷗大学足利高等学校
72			ホッケー	吉原 伶哉	少年	今市高等学校
73			ホッケー	石原 樹里	少女	今市高等学校
74			ホッケー	鷺頭 凜	少女	今市高等学校
75			ボクシング	シルバ イエシュア	少年	作新学院高等学校
76	ボクシング		小林 栄絢	少年	白鷗大学足利高等学校	
77	体操		谷田 智治	少年	作新学院高等学校	
78	体操		吉田 優生	少年	作新学院高等学校	
79	レスリング		與那城 一輝	少年	足利大学附属高等学校	
80	レスリング		福島 煌天	少年	足利大学附属高等学校	
81	卓球		佐久間 芽生	少女	文星芸術大学付属高等学校	
82	馬術		渡邊 心	少年	鍋掛牧場	
83	柔道		中田 涼太	少年	白鷗大学足利高等学校	
84	柔道		小林 杏遙	少女	國學院大學栃木高等学校	
85	柔道		酒井 結海	少女	國學院大學栃木高等学校	
86	柔道		柴田 陽	少年	白鷗大学足利高等学校	
87	柔道		黒田 佑斗	少年	白鷗大学足利高等学校	
88	柔道		池内 雷基	少年	白鷗大学足利高等学校	
89	柔道		鉄炮塚 晋佑	少年	國學院大學栃木高等学校	
90	柔道		高橋 梨子	少女	足利短期大学附属高等学校	

令和6(2024)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望選手

No.	指定	競技名	選手名	種別	所属
91	B指定	弓道	熊倉貫太	少男	作新学院高等学校
92		剣道	大河原彩香	少女	小山高等学校
93		剣道	大河原靖太	少男	佐野日本大学高等学校
94		スポーツライミング	寺川陽	少男	さくら清修高等学校
95		スポーツライミング	加藤頼斗	少男	宇都宮北高等学校
96		スポーツライミング	戸田稔大	少男	宇都宮北高等学校
97		スポーツライミング	船木陽	少男	矢板東高等学校
98		カヌー	後藤紗世	少女	黒磯高等学校

【A指定 成男：29、成女：34】 【B指定 少男：20、少女：14、少年：1】

【※印の選手はタレント発掘・育成事業（とちぎ未来アスリートプロジェクト）の修了生】

令和6(2024)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望チーム

No.	指定	競技名	チーム名	種別	監督名
1	S指定	ホッケー	LIEBE 栃木	成男	福田敏昭
2		ホッケー	グラコ・スミスクラインOrangeUnited	成女	渡邊あかね
3		ソフトボール	Honda	成男	浦本大嗣
4	A指定	バスケットボール	白鷗大学女子バスケットボール部	成女	佐藤智信
5		バスケットボール	白鷗大学男子バスケットボール部	成男	網野友雄
6		ソフトボール	Honda Reverta	成女	加藤一秀
7	指定	サッカー	ヴェルフェ矢板	成男	箕輪圭祐
8		バレーボール	Reve's 栃木	成男	河野裕輔
9		ハンドボール	栃の葉クラブ	成男	川田俊樹
10		柔道	北関東総合警備保障（株）	成男・女	森雄二
11		剣道	栃木県警察チーム	成男	高濱一夫
12		剣道	とちぎ女子剣道クラブ	成女	山田博子
13		ラグビーフットボール	白鷗大学ラグビーフットボール部	成男	古庄史和
14		ラグビーフットボール	宇都宮ヴォルツ	成男	鈴木文善

【S指定：3チーム、A指定：3チーム、指定：8チーム】

オリパラアスリート強化支援事業 実施要項

1 目的

日本代表・代表候補等に選出されるような本県トップアスリートを指定し、強化活動等を支援することで、オリンピック、パラリンピック、世界選手権等への出場を目標とし、さらにはメダル獲得を期待する。また、本県スポーツ振興の先導役として、国民スポーツ大会における天皇杯・皇后杯の上位入賞に貢献し、本県の恒久的なスポーツ振興を目指す。

2 対象

次に掲げる条件のいずれかを満たす者とする。

- ①日本スポーツ協会加盟競技に取り組んでおり、日本代表に選出されオリンピック、世界選手権等での活躍を期待される選手。
- ②日本パラリンピック委員会加盟競技に取り組んでおり、日本代表に選出されパラリンピック、世界選手権等での活躍を期待される選手。

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体または県障害者スポーツ協会等の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査し選手を指定する。推薦される選手は、栃木県出身、在住、在籍等本県にゆかりのある選手で、本県のスポーツ振興への取組に意欲的な選手であり、以下の基準を満たす選手とする。

- ・近年の国際大会に出場・日本代表選出の実績があり、今後も選出が見込まれ活躍が期待される選手。
- ・日本選手権や国民スポーツ(体育)大会等での入賞実績を有し、日本代表・代表候補として選出が期待される選手。
- ・対策本部長が別に認める選手。

4 補助対象経費

指定された選手には、日本代表選考大会等に向けた強化活動のうち、報償費(コーチ料)、旅費(交通費、宿泊費)、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

4月	選手の指定
通年	強化活動支援

令和6(2024)年度オリパラアスリート強化支援事業 指定選手

No.	競技名	種目、階級等	選手名	所属
1	陸上競技	400m, 4×400mリレー	佐藤 風雅	ミズノ(株)
2	陸上競技	やり投	小椋 健司	(株)エイジェック
3	水泳	飛込	榎本 遼香	栃木トヨタ自動車(株) (株)日本水泳振興会宇都宮事業所
4	水泳	飛込	須山 晴貴	(株)日本水泳振興会宇都宮事業所
5	水泳	個人メドレー	松下 知之	東洋大学
6	ホッケー	—	大橋 雅貴	LIEBE栃木
7	ホッケー	—	永吉 拳	LIEBE栃木
8	ホッケー	—	大岡 凌磨	LIEBE栃木
9	ホッケー	—	川村 裕亮	LIEBE栃木
10	ホッケー	—	狐塚 美樹	グラクシ・スミスマイン OrangeUnited
11	ホッケー	—	工藤 優	グラクシ・スミスマイン OrangeUnited
12	ボクシング	57kg級	吉澤 颯希	自衛隊体育学校
13	体操	—	谷田 雅治	順天堂大学
14	セーリング	ウインドサーフィン	小嶺 恵美	(公財)栃木県スポーツ協会
15	柔道	100kg超級	太田 彪雅	旭化成(株)
16	剣道	—	竹中 美帆	(公財)栃木県スポーツ協会
17	スポーツクライミング	複合	檜崎 智亜	無所属
18	スポーツクライミング	複合	檜崎 明智	日新火災海上保険(株)
19	空手道	形	本 龍二	イー・ギャランティ(株)
20	クレール射撃	—	折原 梨花	林テレンプ(株)
21	トライアスロン	—	ニナ 賢治	NTT東日本NTT西日本
22	パラ水泳	競泳	大島 茄巳琉	国土館大学
23	車いすバスケットボール	—	大森 亜紀子	栃木レイカーズ
24	パラアーチェリー	—	大塚 忠胤	日本アムウェイ合同会社
25	脳性まひ者7人制サッカー	—	久保 善暉	FC CASA
26	脳性まひ者7人制サッカー	—	亀野 大樹	FC CASA
27	知的障害者サッカー	—	高木 翔	栃木県選抜

アスリート就職支援事業 実施要項

1 目的

全国・国際スポーツ大会等で活躍するトップアスリートや指導者（以下「選手等」という）に対し、県内企業等（以下「企業」という）への就職支援を行うことにより、本県の競技者及び指導者を確保し、安定した競技力を維持することを目的とする。

2 対象

(1) 選手等

国民スポーツ大会の正式競技に取り組んでいる選手等で、次に掲げる条件のいずれかを満たす者とする。

- ① 国民スポーツ(体育)大会や全日本選手権大会若しくはこれに準ずる大会に出場したことがある者（団体競技は主力選手として試合に出場していた者）。
- ② 本県の成年種別の競技力向上に必要な存在であり、栃木県競技力向上対策本部が特別に認めた者。

(2) 企業

県内に本社又は事業所を有し、全国・国際スポーツ大会で活躍する選手等を採用する意志があり、競技活動への理解と協力ができる企業とする。

3 事業内容

【本部事業】

職業紹介所「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター」において、求人及び求職の申込みを受け、企業と選手等との間における雇用関係の成立をあっせんする。

- (1) 企業への選手等の採用依頼、競技団体による選手等の発掘・勧誘。
- (2) 企業に対して求人票、選手等には求職票を競技団体の推薦を得て提出するよう依頼。
- (3) 求人・求職に係る情報の公開・管理。
- (4) 企業及び選手等にとって有益なマッチングの実施並びに事前面談の日程等を調整。
- (5) 採用後、企業及び選手等に対して定期的なアフターフォローの実施。

4 スケジュール

(1) 新卒者

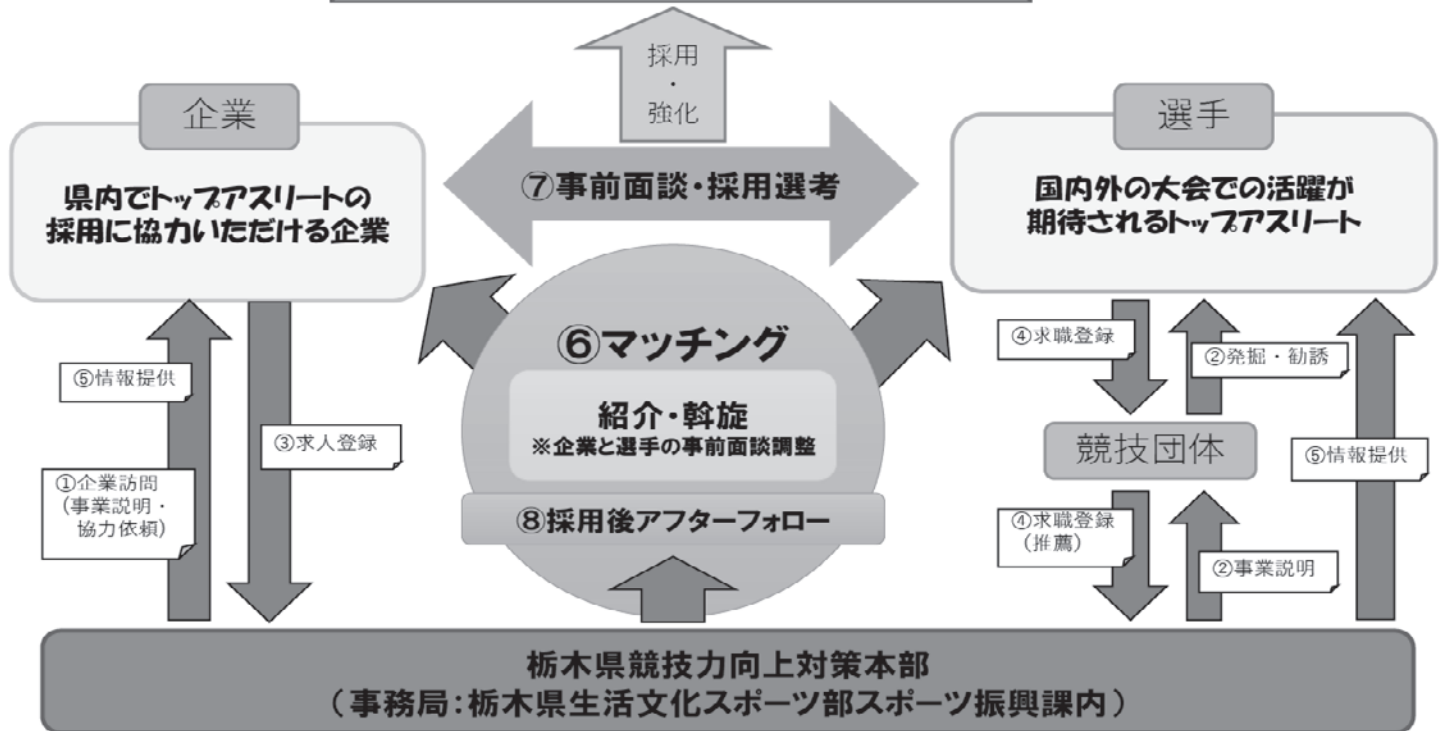
- 前年度1月～ エントリー受付、事前面談の日程調整
- 前年度3月～ 企業と選手等の事前面談（※広報活動解禁）
- 当年度6月～ 採用選考（※選考活動解禁）
- 次年度4月～ 採用

(2) 既卒者

上記スケジュールに関わらず随時エントリー受付、事前面談や採用選考等を実施

職業紹介所「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター」

栃木県の安定した競技力の維持



アスリート採用までの流れ

Step1 エントリーシートの提出

○とちぎアスリート・キャリアサポートセンターのHPからエントリーシートをダウンロードして、必要事項を記入後、競技団体まで提出してください。その後、競技団体が推薦理由を記入の上、当センターに提出することになります。

Step2 企業の求人情報を閲覧

○県内協力企業の求人情報をHPに掲載しております。気になる企業がありましたらお気軽に当センターまでご連絡ください。なお、企業から打診があった場合には、当センターからアスリート本人にご連絡差し上げます。

Step3 企業とのマッチング・事前面談

○当センターがアスリートの要望と企業の求人情報をマッチングの上、就職先の候補をご紹介します。また、企業担当者との面談の日程を調整させていただきます。
○面談では、企業にどのように貢献するかなどを自己アピールしていただき、競技活動の状況や競技を続ける上で企業側に配慮してもらいたいことなどを説明してください。

Step4 採用選考

○企業の採用選考を受けていただきます。なお、企業の選考基準により採否の判断がなされます。

Step5 採用

○「チームとちぎ」の一員として、仕事と競技を両立させた活躍を期待しています。なお、採用後も当センターが定期的にアフターフォローさせていただきます。

とちぎアスリート・キャリアサポートセンター登録求人企業一覧

令和6(2024)年3月31日現在

No.	企業名	業種	求人職種
1	(株) 足利銀行	金融業	総合職
2	(株) アール・ティー・シー	電子機器製造業	営業職・総合職
3	(株) アルファ・クリエイト	物流サービス業	総合職
4	医療法人社団一心会	福祉業(老人介護)	介護職
5	(株) エイジェック	人材総合プロデュース業	総合職
6	(株) エコアール	卸売業(自動車部品)	営業職、技術職
7	エステート住宅産業(株)	建設業、不動産業	総合職
8	(株) 大岩建設	建設業	総合職
9	(株) オータニ	販売職、事務職	販売職、事務職
10	関綜エンジニアリング(株)	設備工事業	総合職
11	環境整備(株)	ビルメンテナンス業	総合職
12	株式会社カンセキ	サービス業	総合職
13	北関東総合警備保障(株)	警備業	警備職、事務職、技術職
14	グランディハウス(株)	不動産業	総合職、事務職
15	(株) クロサキ	卸売業(理美容器材)	営業職
16	(社福) 晃丘会	福祉業(老人介護等)	介護職、事務職
17	(社福) 光誠会	福祉業(老人介護)	介護職
18	(株) 古口工業	輸送用機械器具製造業	営業職、技術職
19	(有) 佐野機工	製造業	営業事務、営業、技術職
20	(株) サンスポーツ	小売業(スポーツ用品)	営業職
21	J A 共済連栃木	共済事業	事務職
22	(社福) 真心会	福祉業(老人介護)	介護職
23	(社福) 正恵会	福祉業(老人介護)	介護職
24	大協建設(株)	建設業	総合職
25	(有) 滝口スポーツ	小売業(スポーツ用品)	営業職
26	(株) デル・コラソン	フィットネスクラブ	総合職
27	東武建設(株)	総合建設業	事務職・営業職・技術職
28	(株) 栃木銀行	金融業	事務職・営業職
29	栃木トヨタ自動車(株)	小売業(自動車)	総合職
30	トチギマーケット(株)	小売業	総合職
31	トヨタカローラ栃木(株)	小売業(自動車)	総合職、事務職
32	(株) 南大門ホールディングス	サービス業(スパ事業ほか)	総合職
33	(株) 男体自動車	自動車販売修理業	営業職
34	(株) 日本栄養給食協会	サービス業	総合職
35	(株) 野澤実業	建設業・飲食業・介護業	総合職
36	社会医療法人博愛会菅間記念病院	病院	事務職・看護補助
37	初谷建設(株)	建設業	総合職
38	藤井産業(株)	卸売業(電設資材等)	営業職、業務職
39	ブルデンシャル生命保険(株)	保険業	営業職
40	(株) フレンド	福祉業(老人介護)	介護職
41	ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社	卸売業(歯科用医療機材)	営業職
42	ホテルジャパン日光	宿泊業	サービス職
43	三井マネジメント(株)	住宅環境改善事業	営業職・技術職
44	株式会社神戸製鋼所 真岡製造所	製造業、発電業	技術職
45	ABCロジテム(株)	運輸倉庫業	一般事務・固定ルートドライバー
46	(株) Reve's	サービス業	営業職

※ 総合職とは、その企業の総合的な業務に当たる職種を指します。

スポーツ用具整備事業 実施要項

1 目的

選手育成強化や競技普及などの競技力向上を図るため、必要と認められるスポーツ用具を整備し、競技団体に貸与する。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【本部事業】

競技力向上に資するもので、かつ次に掲げる用件のうち、いずれかに合致する用具を対象団体に貸与する。

- (1) 高額等の理由により、競技団体に整備することが困難なもの
- (2) 用具が整備されておらず、新たに整備する必要があるもの
- (3) 既に整備されている用具があるが、競技規則変更等による規格外、整備数不足及び老朽化等により改めて整備する必要があるもの
- (4) 競技人口が少なく、競技の普及促進のため整備する必要があるもの
- (5) その他、競技力向上の推進のために必要と認められるもの

※次に掲げる用件のうちいずれかに合致するものは、整備対象外とする。

- (1) 税込み単価 100,000 円未満のもの
- (2) 個人に帰属する性格のもの

4 スケジュール

事業の流れは別表のとおりとする。

スポーツ用具整備事業の流れ

年度	県競技力向上対策本部		競技団体
前年度	次年度整備希望用具調査	照会 →	
		← 回答	次年度整備希望用具調査
	次年度整備用具の審議・決定		
当年度	整備用具の内定	通知 →	
		← 提出	「整備要望申請書(様式第1号)」
	整備用具の決定	通知 →	
	整備用具の発注・購入・納品	納品日時連絡 →	
		← 提出	「借受申請書(様式第2号)」 「借受申請に係る管理計画書 (様式第2号別紙)」 「納品報告書(別紙1)」
	「貸付承認書(様式第3号)」	送付 →	
	整備用具の貸与	貸付 →	
		← 提出	「借受書(様式第4号)」
	← 報告	整備用具の適正使用及び管理 借受用具を亡失又はき損した場合 「事故報告書(様式第5号)」	
※次年度	整備用具の貸付継続希望調査	照会 →	
		← 提出	※継続して借受を希望する場合 「借受申請書(様式第2号)」 「借受申請に係る管理計画書 (様式第2号別紙)」 「現況報告書(別紙2)」
	「貸付承認書(様式第3号)」	送付 →	
	整備用具の貸与	貸付 →	
		← 提出	「借受書(様式第4号)」
	← 報告	整備用具の適正使用及び管理 借受用具を亡失又はき損した場合 「事故報告書(様式第5号)」	

タレント発掘・育成事業（とちぎ未来アスリートプロジェクト）実施要項

1 目的

本県の小学生の中から優れた才能を持つ児童を発掘、身体能力や知的能力を育成し、その能力を最大限発揮できるスポーツを見つけることで、将来は国民スポーツ大会や国際大会で活躍する選手の輩出を目指す。

2 事業内容

【本部事業】

- (1) 発掘プログラム：運動能力の高い児童を見つけるプログラム
対象：本県の小学生

- (2) 育成プログラム：発掘した児童・生徒の能力を開発し育成するプログラム
対象：令和5(2023)年度までに認定したエクセレントキッズ・ジュニア
 - ①競技体験：発掘した児童・生徒の適性のある競技を見出すプログラム
 - ②知的能力開発：発掘した児童・生徒の知的能力を育成するプログラム
 - ③身体能力開発：発掘した児童・生徒の身体能力を育成するプログラム
 - ④その他本部長が認めるもの

3 スケジュール

- (1) 発掘プログラム
 - ステージ1（応募者全員が対象、下記の方法で募集）
 - 7～9月 新体力テストの結果等を基に募集
 - 10月 結果を本人に通知

 - ステージ2（ステージ1通過者が対象）
 - 11月9日(土) 運動能力測定：日環アリーナ栃木
 - 12月上旬 結果を本人に通知

 - 認定式（ステージ2通過者が対象）
 - 3月15日(土) 認定式：栃木県総合教育センター

- (2) 育成プログラム
 - 4月20日(土) 開講式：栃木県総合教育センター
 - 6月～ 各種プログラム実施
 - 3月15日(土) 第6回修了式：栃木県総合教育センター

次世代アスリート育成強化事業 実施要項

1 目的

今後の国民スポーツ大会及び各種全国大会等において、活躍が期待されるジュニア選手を対象に強化を図る。また、今後の本県の競技力を担うジュニア選手を対象に普及、育成を図る。

2 対象

- ・国民スポーツ大会における正式競技県内 40 競技団体
- ・中学校体育連盟に加入している競技専門部等

3 事業内容

【本部事業】

「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式

期日：令和6(2024)年8月31日(土)

会場：栃木県総合文化センター メインホール

【補助事業】

(1) 競技団体が実施する以下の事業に対する補助

- ①ジュニア層を対象にした練習会・合宿等
- ②ジュニア層を対象にした強化練習会等において講師・専門家の招へい
- ③ジュニア層の競技人口拡大のための普及イベント等の開催
- ④その他本部長が認める事業

(2) 中学校体育連盟が実施する以下の事業に対する補助

- ①中学生選手の底辺拡大や普及育成を図るための普及啓発活動や強化練習会等
- ②中学生の競技力向上に資する指導者の資質向上を図るための指導者派遣

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

5 スケジュール

通年 競技団体の事業計画に応じた育成強化活動支援

《ジュニアクラブチーム強化指定》

1 目的

今後の国民スポーツ大会等において、活躍が期待される中学生選手を育成しているジュニアクラブを指定し、その強化活動を支援することで競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会の正式競技のうち、令和6年度の全国大会等において上位入賞するなどの活躍が期待できるとともに、(1)、(2)のいずれかの条件を満たす県内のジュニアクラブとする。

(1) 中体連に加盟していない競技のクラブ。

(例：フェンシング、レスリング、ボウリングなど)

(2) 中体連に加盟していても、中体連に所属しない選手のみで構成されるクラブ。

(例：サッカーなど)

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査しチームを指定する（※指定のみのチームもあり）。

4 補助対象経費（※指定のみのチームを除く）

強化指定ジュニアクラブが実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

5 スケジュール

4月 強化指定クラブの指定

通年 強化活動支援

令和6(2024)年度次世代アスリート育成強化事業 ジュニア強化指定チーム

	競技名	チーム名	性別	監督名
1	サッカー	栃木サッカークラブ U-15	男子	花 輪 浩 之
2		栃木サッカークラブレディース U-15	女子	久 保 田 圭 一
3	バレーボール	とちぎビーチバレークラブ	男女	外 松 広 美
4		Maharoバレーボールクラブ	女子	伊 藤 由 紀 子
5	体 操	※ ドッペルクラブ	女子	佐 藤 晴 美
6	バスケットボール	宇都宮ブレックスU15	男子	本 谷 篤 司
7	レスリング	※ 下野サンダーキッズレスリング	男女	船 越 光 子
8	ハンドボール	HC栃木	男子	田 保 橋 光 樹
9		HC栃木	女子	田 保 橋 光 樹
10	フェンシング	※ 上三川フェンシングクラブ	男女	相 場 平 光
11		※ NPO法人 栃木スポーツネット	男女	粕 谷 亜 矢 子
12		※ 河内ジュニアフェンシング	男女	森 岡 尚 美
13	ラグビーフットボール	※ 栃木県ジュニアラグビークラブ	男子	伊 澤 成
14	スポーツクライミング	※ 栃木県スポーツクライミング協会(TSCA)	男女	北 村 誠 一
15	アーチェリー	※ 宇都宮アーチェリー協会	男女	宮 下 朋 幸
16	空 手 道	※ 清原空手道スポーツクラブ	男女	秋 澤 靖 幸
17		※ 正友会	男女	高 橋 一 正

【 指定チーム:11競技17チーム 】 ※は指定証のみのチーム

高体連普及強化活動支援事業 実施要項

1 目的

高体連の各競技専門部が実施する普及強化活動を支援することで、競技人口の拡大を図る。また、中学、高校、大学等が連携して強化活動を実施することで競技力の向上を図る。

2 対象

高等学校体育連盟に加盟している競技専門部

3 事業内容

【補助事業】

(1) 専門部基本普及活動費

各競技専門部が実施する高等学校運動部活動の底辺拡大や普及育成を図るための活動を支援する。

(2) 関東・全国大会開催特別強化費

本県開催で迎える上位大会を契機に、競技専門部が更なる強化を図るための活動を支援する。

(3) 指導者育成費

高校生の競技力向上に資する指導者の資質向上を図るため、本県指導者を上位大会や先進校へ派遣することを支援する。

(4) 中・高・大連携事業費

競技人口拡大や競技力の更なる向上を図るため、中高連携活動、高大連携活動を実施することを支援する。

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

スポーツ指導員配置事業 実施要項

1 目的

とちぎ国体後の競技力の維持を目指し、優れた競技技術・経験を有するとともに、本県選手への指導が可能である者を「スポーツ指導員」として雇用する。

2 事業内容

【補助事業】

(1) 対象者

国民スポーツ大会の正式競技に取り組んでいる選手で、次に掲げる条件のいずれかを満たし、国民スポーツ大会や各種大会において上位入賞が期待できる者とする。

- ①採用予定日を基準とする過去3年間に、国際競技大会に日本代表選手やコーチとして選ばれた者。
- ②採用予定日を基準とする過去3年間に、国民スポーツ(体育)大会や全日本選手権大会若しくはこれに準ずる大会で、個人又は団体の優勝若しくはこれに準ずる成績を収めた選手やコーチ。なお、高校生までの大会成績は、上記の成績に含めないものとする。
- ③本県選手に対して、今まで培ってきた経験を還元することができる者(団体競技は主力選手として出場していた者)。

(2) 雇用者

公益財団法人栃木県スポーツ協会

(3) 業務内容

本県競技力向上を図るための業務

- ①競技団体の強化練習会等での本県選手への指導・助言
- ②重点的に強化を進めている学校やクラブチーム等での指導・助言
- ③選手としての競技力向上

(4) 雇用期間

令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日までの1年間

(5) 勤務時間

週29時間以内(原則として週5日)

(6) 報酬

月額25万円(年間300万円)

(7) 社会保険、災害補償

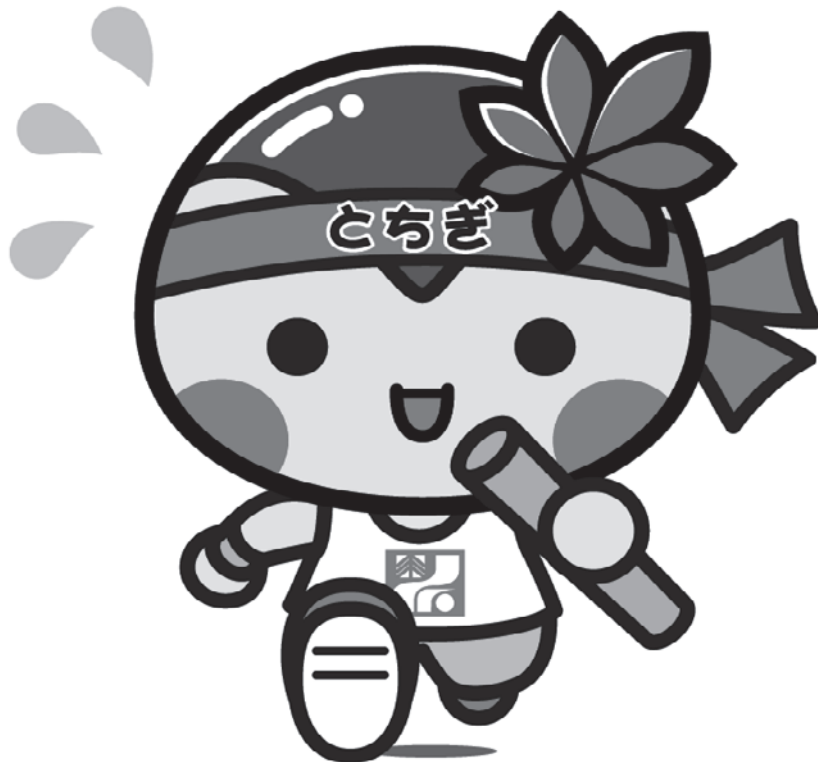
健康保険、厚生年金保険、雇用保険へ加入。労働者災害保険法の定めるところ。

(8) 休暇

年次有給休暇:10日(※更新する者は労働基準法第39条の定めるところによる)

令和6(2024)年度スポーツ指導員認定者

No.	氏名	競技	種別	出身地
1	おがわ たくろう 小川 拓朗	スケート(スピードスケート)	成男	北海道
2	かみかど ふたば 上鹿渡 双葉	スケート(スピードスケート)	成女	北海道
3	いまにし みはる 今西 美晴	テニス	成女	京都府
4	もりさき か な こ 森崎 可南子	テニス	成女	茨城県
5	みずしま たけし 水島 健	バレーボール	成男	福井県
6	やまだ ひると 山田 大翔	体操(トランポリン)	男子	埼玉県
7	やべ かずき 矢部 和希	レスリング(グレコローマン)	成男	神奈川県
8	こみね めぐみ 小嶺 恵美	セーリング(ウィンドサーフィン)	成女	千葉県
9	たけなか みほ 竹中 美帆	剣道	成女	鳥取県
10	とみさわ くるみ 富沢 くるみ	カヌー(スラローム)	成女	北海道



チームとちぎ指導者養成事業 実施要項

《チームとちぎ指導者資質向上事業》

1 目的

県内の競技団体における中核的指導者を対象とし、最新の指導技術等を学ぶための各種研修会や競技の垣根を超えた交流の場を設けることで、県内指導者のスキルアップを図り指導体制の充実に努める。また、各競技団体の推薦を受けた指導者を、チームとちぎ強化指定コーチに指定することにより強化指導体制の推進を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【本部事業】

(1) チームとちぎ指導者資質向上研修会の開催

①第1回チームとちぎ指導者資質向上研修会

期 日：令和6(2024)年4月15日(月) ※競技団体代表者会議後に実施

会 場：栃木県総合教育センター 大講義室

対象者：競技団体における国スポの監督・コーチ等

②第2回チームとちぎ指導者資質向上研修会 未定

③第3回チームとちぎ指導者資質向上研修会 未定

(2) チームとちぎ強化指定コーチの指定

スケジュール

4月 各競技団体は対策本部に強化指定コーチを推薦

6月 対策本部において強化指定コーチを承認、内定
強化指定コーチ指定

《トップレベルコーチ招へい事業》

1 目的

本県各競技団体の指導者を対象に、国内トップレベルの実績と指導力を持つ指導者や、スポーツに関する専門家等を本県に招へいし、最先端の指導を受けることで、本県指導者の指導力向上を図り、競技力の維持・向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【本部事業】

(1) 各競技団体が行う以下の講習会等に講師を派遣する。指定は単年度とし、各競技団体原則、4回(人)を上限とし、講師謝金は1回50,000円とする。

(例)・選手の資質向上を図る指導法

コーチング、技術・戦略、メンタル、フィジカル等

・医科学的分野の活用に関すること

ICT活用(動作分析等)、メンタル、栄養(食事)等

(2) 講師の選定

講師は、各競技団体の推薦を受け、対策本部において審査し決定する。

(3) スポーツ傷害保険への加入

指定された講師の障害等への補償のため、スポーツ安全保険に加入する。

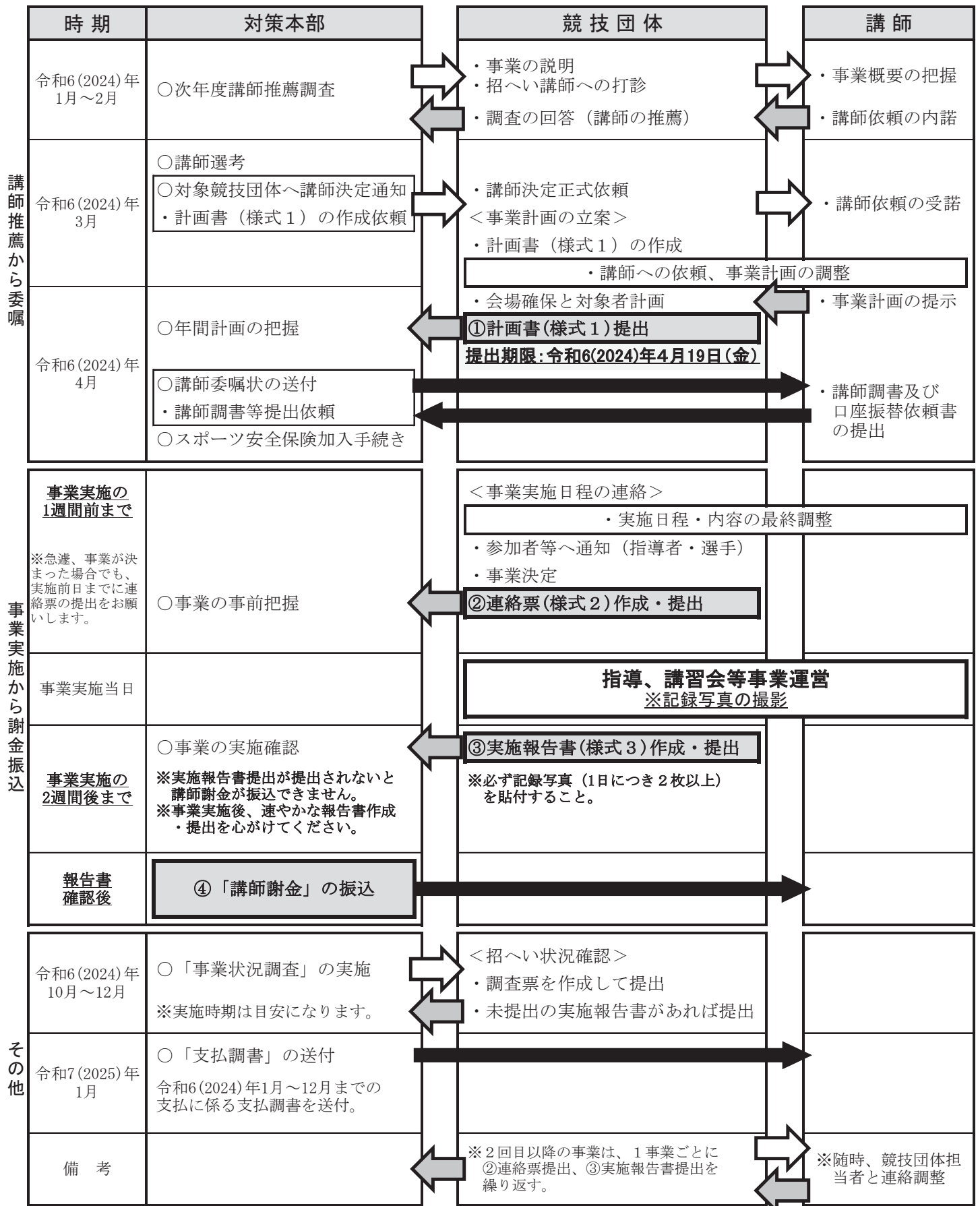
(4) 講師謝金

事業実施後報告書を対策本部へ提出。対策本部が審査、指定の口座へ振込(謝金及び保険料以外の経費については対象外)。

4 スケジュール

4月	講師決定、委嘱
通年	事業実施

令和6(2024)年度チームとちぎ指導者養成事業
「トップレベルコーチ招へい事業」 事務手続フロー



○経費の支出について

講師謝金・保険料	→	競技力向上対策本部より支出
旅費等その他費用	→	競技力向上事業費補助金又は競技団体負担等により支出

令和6(2024)年度トップレベルコーチ招へい事業 講師

No.	競技名	氏名	所属	指導内容
1	陸上競技	與名本 稔	東海大学	専門知識・技術指導
2	テニス	宍戸 渉	東海大学スポーツサポート研究会	メンタルトレーニング
3	テニス	神谷 勝則	SHOW Tennis Project	専門知識・技術指導
4	テニス	宮地 一 道	MIYACHI-TENNIS.COM	専門知識・技術指導
5	ボクシング	村 橋 薫	自衛隊	技術指導・戦術指導
6	バレーボール	三 枝 大 地	吉本・オガール地方創生アカデミー	専門知識・技術指導
7	バレーボール	日 笠 智 之	足立区立渚江中学校	専門知識・技術指導
8	バレーボール	石 島 雄 介	(株)トヨタ自動車ビーチバレーボール部	専門知識・技術指導
9	体操	小 畑 秀 之	国士舘大学	専門知識・技術指導
10	体操	土 橋 コ コ	フリーランス	専門知識・技術指導
11	レスリング	前 田 翔 吾	東洋大学	技術指導・戦術指導
12	セーリング	萩 原 正 大	日本スポーツ振興センター	専門知識・技術指導
13	セーリング	坂 口 英 章	日本経済大学	コーチング・技術戦略指導
14	セーリング	榮 樂 洋 光	国立大学法人鹿屋体育大学	コーチング・技術戦略指導
15	ウエイトリフティング	野 澤 雄 一	平成国際大学	専門知識・技術指導
16	ウエイトリフティング	鈴 木 宗 徹	福島県立福島明成高等学校	専門知識・技術指導
17	ソフトテニス	柴 田 章 平	ヨネックス(株)ヨネックスジャパン	専門知識・技術指導
18	ソフトテニス	大 槻 三 喜	ダンロップ・ソフトテニス部	専門知識・技術指導
19	馬術	佃 日 出 彦	乗馬クラブリバーサイドステーブル浜北	技術指導・戦術指導
20	馬術	岡 田 一 将	乗馬クラブROSS HOF	メンタル・技術全般
21	柔道	長 島 啓 太	日本中央競馬会	技術指導・戦術指導
22	柔道	熊 代 佑 輔	国際武道大学	技術指導・戦術指導
23	柔道	朝 飛 大	朝飛道場	技術指導・戦術指導
24	バドミントン	神谷 ジャーミン	レブナック	技術指導・戦術指導
25	ライフル射撃	小 山 将 太 郎	東京都ライフル射撃協会	専門知識・技術指導
26	剣道	香 田 郡 秀	全日本剣道連盟	技術指導・戦術指導
27	剣道	神 崎 浩	大阪体育大学	技術指導・戦術指導
28	スポーツクライミング	安 井 博 志	日本山岳・スポーツクライミング協会	専門知識・技術指導
29	スポーツクライミング	西 谷 善 子	日本山岳・スポーツクライミング協会	専門知識・技術指導
30	アーチェリー	尹 惠 善	フリーランス	専門知識・技術指導
31	空手道	渡 辺 大 輔	日本松涛連盟	技術指導・戦術指導
32	なぎなた	吉 井 美 惠 子	東京都なぎなた連盟	技術指導・戦術指導
33	ボウリング	山 谷 新 也	足利スターレーン(プロボウラー)	技術指導・戦術指導・分析法
34	ボウリング	詫 摩 浩 一	日本スポーツコーチング協会	スポーツコーチング (コミュニケーション)
35	ボウリング	酒 井 健 次	㈱アメリカンボウリングサービス	専門知識・技術指導
36	ゴルフ	加 茂 靖 倫	(公社)日本プロゴルフ協会	技術指導・戦術指導
37	ゴルフ	横 山 健 士	VIP GOLF PLAZA	技術指導・戦術指導
38	ゴルフ	大 野 良 徳	大野ジュニアゴルフアカデミー	技術指導・戦術指導
39	ゴルフ	大 木 美 幸	(一社)日本女子プロゴルフ協会	技術指導・戦術指導

スポーツ医・科学サポート事業 実施要項

1 目的

本県のトップチームやトップアスリート、U18 選手がオリンピック・パラリンピックや、世界大会、国民スポーツ大会、全国大会等で活躍できるよう、帯同トレーナーの派遣やとちぎスポーツ医科学センター(以下、T I Sという)の利用を支援し、スポーツ医・科学を活用した競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体等

3 事業内容

【委託事業】

(1) チーム帯同トレーナー派遣事業

競技力向上事業や大会等にトレーナー等を派遣することで、選手に対する医・科学面からのコンディショニングサポートの充実を図る。

- ① チーム帯同トレーナー派遣
- ② トレーナー資質向上研修会の開催

(2) トップアスリートサポート事業

本県のトップチーム、トップアスリート及びU18 選手に対し、オリンピック・パラリンピック競技大会や世界大会、全国大会等で活躍できるよう、T I Sの各種サポートの利用を支援する。

- ① チームサポート：対象は国スポや全国大会等において活躍が期待できるチーム
- ② アスリートサポート：対象はオリンピック・パラリンピック競技大会や世界大会、全国大会等において活躍が期待できる選手
- ③ U18 サポート：対象は国スポや全国大会等において活躍が期待できるU18 チーム・選手（高等学校運動部活動拠点校を含む）

4 スケジュール

- 4月 支援競技団体決定
- 随時 事業実施
- 3月 実績報告

Ⅱ

競技力向上事業の事務手続き



○栃木県競技力向上事業費補助金一覧

区分	事業	交付先	再交付先	支払方法
競技団体強化費	○チームとちぎ育成強化事業 ・競技団体強化支援費 ○次世代アスリート育成強化事業	競技団体		概算払
強化指定選手・チーム	○有望選手・チーム強化支援事業 ○オリパラアスリート強化支援事業(選手) ○次世代アスリート育成強化事業	競技団体	対策本部が指定する選手・チーム	概算払

○フローチャート

時期	栃木県競技力向上対策本部		競技団体
前年度10月頃	○提出書類の確認 ※次年度予算要求に反映	←	○次年度補助金の計画書及び予算書(案)の作成・提出 (強化指定選手・チーム人を除く) 【提出書類】 計画書(別記様式第2)、予算書(別記様式第3)、予算内訳書 ※本大会に向けた強化事業や次回国スポに向けた年間計画の作成
前年度12月～1月中 競技団体ヒアリング	○次年度補助金の計画及び予算書(案)の確認	→	※次年度の強化計画のポイントや予算配分への要望等
前年度3月頃	○内示	→	○次年度補助金の計画書及び予算書の再作成・提出 ※内示額と一致するよう前回提出時からの追加・修正
内示後～4月中旬	○提出書類の確認、審査	←	①交付申請 【提出書類】 申請書(別記様式第1)、計画書(別記様式第2)、 予算書(別記様式第3)、予算内訳書(データ)、選手強化計画
4月中～下旬 (申請書提出後)	○交付決定	→ ←	○請求書の提出 【提出書類】 第1四半期請求書(別記様式第7)
4月下旬～5月上旬 (請求書提出後)	○第1四半期補助金支払	→	※同様の手続き(第2四半期:7月、第3四半期:10月、第4四半期:1月)
※必要に応じて	○内示 ○変更交付決定 ○補助金支払	→ ← → ← →	②変更交付申請 【提出書類】 請求書(別記様式第7) ○請求書の提出 【提出書類】 請求書(別記様式第7)
11月上旬	○執行見込額調査	→ ←	○執行見込額調整票の回答 ※10月末時点の執行済額と年度末までの執行計画を確認して作成
12月～1月中 競技団体ヒアリング	○執行状況の確認	→ ←	※12月末時点の執行済額と年度末までの執行計画を確認して回答 ※事業実績報告に向け、会計書類等の整理(随時)
事業終了後30日以内 ～次年度4月10日切	○提出書類の確認、実績報告書の検査	←	○事業実績報告の提出 【提出書類】 報告書添書(別記様式第4)、実績報告書(別記様式第5)、 収支決算書(別記様式第6)、決算内訳書(データ)、 選手強化成果票、記録写真、関係書類及び領収書(写)
次年度4月中旬～5月上旬 (実績報告書提出後)	○補助金の額の確定	→	

栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部長（以下「本部長」という。）は、国民体育（スポーツ）大会等（以下「国体等」という。）に向けた本県の競技力向上を図るため、競技団体等が行う選手及び指導者の育成・強化に要する経費に対し、この要綱に定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付する。

(交付の対象)

第2条 この補助金は、競技団体、学校等において、国体等に向けた選手及び指導者の育成・強化のために実施する事業を交付の対象とする。

2 補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は別に定める。

(交付の申請)

第3条 補助金の交付の申請をしようとする者は、補助金交付申請書（様式第1号）に次に掲げる書類を添えて、別に定める期日までに本部長に提出しなければならない。

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) その他本部長が必要と認める書類

(補助金の対象期間)

第4条 補助金の対象期間は、交付決定のあった日から翌年3月31日までとする。

(交付の決定)

第5条 本部長は、補助金の交付の申請があったときは、当該申請に係る書類の審査及び必要に応じて行う現地調査等により、当該申請に係る補助金を交付すべきものと認めるときは、速やかに補助金の交付の決定をするものとする。

2 本部長は、第1項の場合において、適正な交付を行うため必要があるときは、補助金の交付の申請に係る事項につき修正を加えて補助金の交付の決定をすることがある。

3 本部長は、補助金の交付の決定をしたときは、速やかにその決定の内容及びこれに条件を付した場合にはその条件を補助金の交付の申請をした者に通知するものとする。

(交付の条件)

第6条 本部長は、補助金の交付の決定をする場合において、予算で定める補助金の交付の目的を達成するために必要があるときは、次に掲げる事項につき条件を附するものとする。

- (1) 補助事業に要する経費の配分の変更又は補助事業の内容の変更（第8条で定める軽

微な変更を除く。) をする場合においては、本部長の承認を受けること。

- (2) 補助事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
 - (3) 補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けること。
 - (4) 補助事業の完了により当該事業者には相当の収益が生ずると認められる場合においては、当該補助金の交付の目的に反しない場合に限り、その交付した補助金の全部又は一部に相当する金額を本部長に納付すること。
- 2 本部長は、前項に定めるもののほか、補助金の交付の目的を達成するため必要な条件を附することがある。

(申請の取下げ)

- 第7条 補助金の交付の申請をした者は、第5条第3項による通知を受領した場合において、当該通知に係る補助金の交付の決定の内容又はこれに附された条件に不服があるときは、当該受領の日から10日を経過する日までに申請の取り下げをすることができる。ただし、本部長が特に必要と認める場合は、この期間を短縮し、又は延長することがある。
- 2 前項の規定による申請の取り下げがあつたときは、当該申請に係る補助金の交付の決定は、なかったものとみなす。

(軽微な変更)

- 第8条 第6条第2項第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。
- (1) 事業種目を変更し、又は廃止すること。
 - (2) 事業主体を変更すること。
 - (3) 総事業費の20パーセント以上の変更をすること。

(変更の承認)

- 第9条 第6条第2項第1号の規定に基づく補助事業の内容の変更について承認を受けようとする場合には、変更承認申請書(様式第2号)に変更の内容及び理由を記載して本部長に提出しなければならない。

(決定の取消し)

- 第10条 本部長は、補助事業者が補助金の他の用途への使用をし、その他補助事業に関し、補助金の交付の決定の内容又はこれに附した条件その他法令等又はこれに基づく本部長の処分に違反したときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことがある。
- 2 本部長は、補助金の交付の決定をした場合において、その後の事情の変更により特別の必要が生じたときは、補助金の交付の決定の全部若しくは一部を取り消し、又はその決定の内容若しくはこれに附した条件を変更することがある。ただし、補助事業のうちですでに経過した期間に係る部分については、この限りでない。
- 3 第2項の規定により補助金の交付の決定を取り消すことができる場合は、次の各号に該当する場合とする。

- (1) 天災地変その他補助金の交付の決定後生じた事情の変更により、補助事業の全部若しくは一部を継続する必要がなくなった場合
- (2) 前号に規定する場合のほか、補助事業を遂行することができない場合（補助事業者の責に帰すべき事由による場合を除く。）

（補助事業の遂行）

第11条 補助事業者は、法令等の定め並びに補助金の交付の決定の内容及びこれに附した条件その他法令等に基づく本部長の処分に従い、善良な管理者の注意をもって補助事業を行わなければならない。いやしくも補助金の他の用途への使用をしてはならない。

- 2 補助事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。

（状況報告）

第12条 補助事業者は、補助事業の遂行の状況に関し、別に通知する書類をもって、本部長に報告しなければならない。

（実績報告）

第 13 条 補助事業者は、補助事業が完了したときは、事業の完了した日から起算して30日以内又は4月10日のいずれか早い日までに、補助事業実績報告書（様式第3号）に次に掲げる書類を添えて、本部長に報告しなければならない。

- (1) 実績報告書
- (2) 収支決算書
- (3) その他本部長が必要と認める書類

（検査）

第 14 条 本部長は、前条の規定により補助事業の完了の届出があったときは、補助事業者に対し、本部長の命じた職員（以下「検査員」という。）をして、当該補助事業に係る書類、帳簿その他必要な物件の検査を行わせることがある。

- 2 本部長は、補助金に係る予算の執行の適正を期するため必要があると認めるときは、いつでも検査員をして補助事業者に対し、当該事業に係る帳簿、書類その他の物件の検査を行わせることがある。

（補助金の額の確定）

第 15 条 本部長は、第 13 条の規定による実績報告書の提出を受けた場合は、前条の規定により行う検査により、その報告に係る補助事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、当該補助事業者に通知する。

(交付の請求)

第 16 条 補助事業者は、補助金の交付を受けようとするときは、補助金交付請求書（様式第 4 号）に次に掲げる書類を添えて、本部長に提出しなければならない。

- (1) 交付決定通知書の写
- (2) その他本部長が必要と認める書類

2 本部長は、特に必要があると認めるときは、補助金を概算払により交付することができる。

(補助金の返還)

第 17 条 本部長は、補助金の交付の決定を取り消した場合において、補助事業の当該取消しに係る部分に関し、すでに補助金が交付されているときは、期限を定めて、その返還を命ずるものとする。

(帳簿の備付等)

第 18 条 補助事業者は、補助事業に係る収入及び支出を証らかにした帳簿を備え、かつ、当該収入及び支出についての証拠書類を整理し、これらの書類を事業の完了の日の属する年度の終了後 5 年間保管しておかななければならない。

(財産処分の制限)

第 19 条 補助事業者等は、補助事業等により取得し、又は効用の増加した財産を本部長の承認を受けないで、補助金等の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け又は担保に供してはならない。

(その他)

第 20 条 この要綱に定めるもののほか、補助金に関し必要な事項は、本部長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から適用する

附 則

この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から適用する

附 則

この要綱は、令和 3 年 4 月 1 日から適用する

附 則

この要綱は、令和 5 年 4 月 1 日から適用する

栃木県競技力向上事業費補助金交付要領

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する栃木県競技力向上事業費補助金（以下「補助金」という。）の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要領の定めるところによる。

(補助対象)

第2条 要綱第2条の規定による補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、対象経費及び交付の相手方は別表に定めるもののほか本部長が必要と認めるものとし、予算の範囲内で交付する。

(交付の申請)

第3条 補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
栃木県競技力向上事業費補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書	別記様式第2	1	本部長が別に定める日
			2 収支予算書	別記様式第3	1	

(変更の承認又は追加交付申請)

第4条 要綱第6条第1号に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

2 この補助金の交付決定後の事業の変更により申請の内容を変更して追加交付申請を行う場合には、変更承認申請書に変更内容及び理由を記載した書類を添付して、1部を交付申請の手続きに従い本部長に提出しなければならない。

(実績報告)

第5条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
栃木県競技力向上事業費補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書	別記様式第5	1	事業完了後の30日以内または4月10日のいずれか早い日
			2 収支決算書	別記様式第6	1	

(補助金等の請求)

第6条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき 請求書の名称	様式	部数	請求書に添付 すべき書類の名称	部数	提出期限
栃木県競技力向上事業費 補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写	1	交付を受けようとする日 の10日前

附 則

この要領は、平成27年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、平成28年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、平成29年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和2年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和3年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和5年度分の補助金から適用する。

【別表】

補助金の名称	交付の目的	交付の対象である事務又は事業 の内容及び対象経費	交付の相手方
チームとちぎ 育成強化事業	本県選手の国体等における、優勝数・入賞数の増加	県内競技団体が行う強化練習会及び強化合宿等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	国体正式競技である県内41競技団体
有望選手・チーム 強化支援事業	国体等での活躍が期待される選手及びチームの競技力向上	対策本部が指定した選手又はチームが行う強化練習会や強化合宿等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	対策本部が指定した県内競技団体
オリパラアスリート 強化支援事業	オリンピック・パラリンピック等での活躍が期待される選手の競技力向上	対策本部が指定した選手が行う強化練習や強化合宿等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	対策本部が指定した県内競技団体
次世代アスリート 育成強化事業	本県ジュニア選手に対する競技の普及及び育成強化	県内競技団体がジュニア選手を対象に行う、普及・育成強化を図るためのイベント及び強化練習会等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	国体正式競技である県内40競技団体
スポーツ指導員 配置事業	本県スポーツ指導員の雇用	スポーツ指導員の給料・社会保険料等、臨時補助員の賃金等の経費	(公財)栃木県スポーツ協会

令和6(2024)年度栃木県競技力向上事業費補助金 対象経費等一覧

No.	補助対象経費	補助対象限度額	チームとちぎ	アシスト代	有望・オリパラ(選手)・次世代(チーム)強化指手定		補助対象外経費
					強化指手定	強化指手定	
1	報償費	指導手当：2,500円/日、講師謝金「別表1」	○	○	●	○	会議手当
2	旅費	交通費：実費（注意事項①）	○	○	○	○	燃料代（自家用車）、タクシー代
		宿泊費：11,800円/食事代込（注意事項②）	○	○	○	○	
3	使用賃借料	実費（注意事項③）	○	○	○	○	
4	消耗品費	交付額の原則10%程度（注意事項④）	○	○	○	○	単価10万円以上、備品
5	通信運搬費	実費	○	○	○	○	
6	印刷製本費	実費	○	○	○	○	
7	保険料	実費	○	○	○	○	
8	スポーツ用具費	各事業の原則20%程度（注意事項⑤）	○	○	●	○	個人的用具（ラケット・スパイク等）、備品
9	大会参加料	実費	○	○	○	○	県内競技団体主催大会参加料
10	その他経費	本部長が認めるもの（注意事項⑥、⑦）	○	○	●	○	資格取得等受講料

【注意事項】 ※原則、必ず領収証を提出すること。

① 自家用車利用の場合は、21円/kmとし出発地（自宅・勤務地）から会場の往復距離とする（往復のkm未満は切り捨て）。なお、同乗者への旅費は補助対象外とする。

※有料・高速道路を利用した場合は、領収証のコピー又はETC利用明細書を提出すること。また、航空、水上交通機関を利用の場合も領収証のコピーを提出すること。

※電車運賃については、片道50km以上は急行、100km以上は特急または新幹線料金を補助対象とすることができる（県の旅費規定に準ずる）。

② 学校内などの宿泊施設使用については、1人2,500円/泊を補助対象とする。

③ とちぎスポーツ医学センターの利用料金、借上げバスやレンタカーの使用料及び駐車場代は使用賃借料として補助対象とする。

④ 栄養補助食品（サプリメント・プロテイン等）、練習会や合宿、会議等で必要な飲料及びアイシングや熱中症対策等で必要な水は消耗品費として補助対象とする。

新型コロナウイルス感染症の対策用品として消毒液やフェイスマスク、非接触型体温計等についても消耗品費として補助対象とする。

⑤ スポーツ用具費とは、競技用具の中でも消耗品に類するものを指す（例：ボール、ジャトル等）。概ね1年以内にその性質・形状が失われるものが該当。

⑥ 手数料（振込手数料等）、委託料、修繕費（スポーツ用具）等及び、招へい講師の食事代（1食1,000円上限）はその他経費として補助対象とする。

⑦ その他、支出に関して不明な点は、事前に栃木県競技力向上対策本部事務局に相談すること。

● 強化指定選手に対する報償費は、個人的に契約するコーチやトレーナー等への謝金を補助対象とする。

スポーツ用具費は、個人的用具であっても補助対象とする（限度額は定めない）。心体のケアにかかるコンディショニング費用についてもその他経費として補助対象とする。

令和6(2024)年度栃木県競技力向上事業費補助金 講師謝金区分

謝金対象区分					補助対象限度額		
					¥50,000	¥30,000	¥10,000
とちぎ 競技力向上 事業費 ※1 ～ 2	有識者	大学関係者	大学教授・準教授・講師 等	県外	○		
				県内		○	
		ドクター	スポーツドクター 等	県外	○		
				県内		○	
	指導者	著名な指導者	日本代表監督・コーチ 中央競技団体強化委員 等	県外	○		
				県内		○	
		専門指導者	地方競技団体強化委員 実業団チーム監督・管理栄養士 メンタルトレーナー 等	県外		○	
				県内			○
	選手	著名な選手	オリンピック入賞 世界選手権入賞 等	県外	○		
				県内		○	
		トップレベル選手	オリンピック代表 世界選手権代表 等	県外		○	
				県内			○

- ・原則として、事業を実施する競技団体登録者を除くこととする。
- ・各競技団体は謝金支払時に源泉徴収の手続きを行う。また、講師に確定申告を行うよう伝える。
- ・講師謝金に関して不明な点は、事前に栃木県競技力向上対策本部事務局に相談する。

※1 県外・県内の区分は、居住地または所属チーム・登録競技団体等の所在地による。

※2 栃木県競技力向上事業費補助金の講師謝金単価は、一人の講師に1日(4時間～6時間)の指導を依頼した場合の基準とし、半日(2時間～3時間)の場合は半額とする。なお、講師謝金単価以上を支払う場合は、競技団体が超過分を負担すること。

中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金交付要領

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要領の定めるところによる。

(交付の目的等)

第2条 中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は、次の表のとおりとし、予算の範囲内で交付する。

補助金の名称	補助金等の交付の目的	交付の対象である事務又は事業の内容	交付額	交付の相手方
中学校スポーツ活動普及奨励事業補助金	県内中学生の競技力向上	県内中学生の競技力向上並びに競技人口拡大を図るための強化練習や合宿、遠征等	予算の範囲内で本部長が定める額	栃木県中学校体育連盟
高体連普及強化活動支援事業補助金	県内高校生の競技力向上	県内高校生の競技力向上並びに競技人口拡大を図るための強化練習や合宿、遠征等	予算の範囲内で本部長が定める額	栃木県高等学校体育連盟

(交付の申請)

第3条 中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
中学校スポーツ活動普及奨励事業補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書 2 収支予算書	別記様式第2 別記様式第3	1 1	本部長が別に定める日
高体連普及強化活動支援事業補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書 2 収支予算書	別記様式第2 別記様式第3	1 1	本部長が別に定める日

(交付の条件)

第4条 要綱第6条の規定による条件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金の交付対象である事業（以下「補助金事業」という。）の内容の変更（第5条の軽微な変更を除く。）をする場合においては、本部長の承認を受けること。
- (2) 補助金事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
- (3) 補助金事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けなければならない。
- (4) 補助金事業により取得し、または効用の増加した財産については、本部長の承認を受けずこの補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は廃棄してはならない。

- (5) 本部長の承認を受けて財産を処分することにより収入があった場合には、その収入の全部または一部を対策本部に納付させることがある。
- (6) 補助金事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。
- (7) 中学校・高等学校運動部活動支援事業補助金と補助金事業に係る証拠書類等の管理については、補助金事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出について証拠書類を整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を補助金事業完了の日（補助金事業の中止又は本部長の承認を受けた場合には、その承認を受けた日）の属する年度の終了後5年間保管しなければならない。

(軽微な変更)

第5条 第4条第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。

- (1) 事業種目を変更し、又は廃止すること。
- (2) 事業主体を変更すること。
- (3) 総事業費の20%以上の変更をすること。

(変更の承認)

第6条 第4条1号の規定に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

(実績報告)

第7条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
中学校スポーツ活動普及奨励事業補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書 2 収支決算書	別記様式第5 別記様式第6	1 1	事業完了後の30日以内又は4月10日のいずれか早い日
高体連普及強化活動支援事業補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書 2 収支決算書	別記様式第5 別記様式第6	1 1	事業完了後の30日以内又は4月10日のいずれか早い日

(補助金等の請求)

第8条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき請求書の名称	様式	部数	請求書に添付すべき書類の名称	部数	提出期限
中学校スポーツ活動普及奨励事業補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写	1	交付を受けようとする日の10日前

高体連普及強化活動支援 事業補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写	1	交付を受けようとする日 の10日前
---------------------------	--------	---	-----------	---	----------------------

附 則

この要領は、平成 28 年度分の中学校拠点校支援事業補助金から適用する。

この要領は、平成 28 年度分の高等学校拠点校支援事業補助金から適用する。

附 則

この要領は、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要領は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要領は、令和 3 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この要領は、令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

スポーツ用具整備事業実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）が国民体育（スポーツ）大会に向けて競技力向上を推進するために実施するスポーツ用具整備事業の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(整備対象競技)

第2条 本事業によりスポーツ用具（以下「用具」という。）を整備する競技は、国民体育（スポーツ）大会における正式競技とする。

(整備対象用具)

第3条 本事業により整備する用具は、競技力向上に資するもので、かつ次に掲げる要件のうちいずれかに合致すると対策本部が認めるものとする。ただし、税込単価100,000円未満のもの、競技会の運営上必要なもの及び個人に帰属する性格のものは対象外とする。

- (1) 高額等の理由により、競技団体に整備することが困難なもの
- (2) 用具が整備されておらず、新たに整備する必要があるもの
- (3) 既に整備されている用具があるが、競技規則変更等による規格外、整備数不足及び老朽化等の理由により、改めて整備する必要があるもの
- (4) 競技人口が少なく、競技の普及促進のため整備する必要があるもの
- (5) その他、競技力向上の推進のために必要と認められるもの

(整備方法)

第4条 用具整備を希望する競技団体は、別に定める期日までに整備要望申請書（別記様式第1号）を対策本部長に提出する。

- 2 対策本部長は、前項の申請書を受理したときは、内容を審査し、適当と認めた用具を整備する。
- 3 対策本部長が整備した用具については、競技団体からの申請に基づき無償で貸付けることとする。
- 4 税込単価100,000円未満のもの及び特に対策本部長が必要と認める用具については、競技団体その他団体へ無償で譲渡することができる。
- 5 整備年度の次年度より3年間の貸与を継続した上で、対策本部長が認めた用具については、無償で競技団体その他団体へ譲渡することができる。

(貸付の申請)

第5条 前条第3項の規定による貸付を受けようとする競技団体は、借受申請書（別記様式第2号）を対策本部長に提出しなければならない。

(貸付の承認)

第6条 対策本部長は、前条の申請書を受理したときは、内容を審査し、承認したときは貸付

承認書（別記様式第3号）により、承認しないときはその旨を記載した通知書により申請者に通知するものとする。

（借受書）

第7条 前2条の規定により用具を借受ける競技団体（以下「借受人」という。）は、借受書（別記様式第4号）を対策本部長に提出しなければならない。

（事故報告書）

第8条 借受人が、借受用具を亡失又はき損した場合は、事故報告書（別記様式第5号）により対策本部長に報告し、その指示に従わなければならない。この場合において、その原因が天災火災又は盗難に係るものであるときは、亡失又はき損の事実を証する関係官公署の発行する証明書を当該様式に添付すること。

2 対策本部長は前項の報告を受けた場合において亡失又はき損が借受人の責に帰すべき理由によるものであると認めるときは、これを補てんさせ、若しくは修理させ、又はその損害を弁償させるものとする。

（貸付期間）

第9条 用具の貸付期間は、特に必要と認められる場合を除き、貸与日から翌年3月31日までとする。ただし、1年を超えない期間において延長することができる。

（貸付条件）

第10条 用具の貸付けにあたり、次の各号に掲げる条件を付す。

- （1）貸付用具の引渡し、維持、修繕及び返納に要する費用は、借受人が負担するものとする。
- （2）貸付用具は、善良な管理者の注意をもって管理し、その効率的使用に努めること。
- （3）貸付用具は、転貸しないこと。
- （4）貸付用具は、貸付の目的以外の目的のために使用しないこと。
- （5）貸付用具についての使用場所が指定されたときは、指定場所以外の場所では使用しないこと。
- （6）貸付用具は、借受人が貸付条件に違反したときは、対策本部長の指示に従い、すみやかに返納すること。
- （7）貸付用具は、貸付期間満了の日までに指定された場所に返納すること。
- （8）貸付用具について、対策本部長が随時に実地に調査し、若しくは所要の報告を求め、又は当該用具の維持、管理及び返納に関して必要な指示をしたときは、これに従うこと。

2 対策本部長は、前項各号に掲げる条件のほか、必要と認める条件を付することがある。

（譲渡の申請）

第11条 前条の条件に該当し譲渡を受けようとする競技団体は、譲渡申請書（別記様式第6号）及び誓約書を対策本部長に提出しなければならない。

(譲渡の承認)

第12条 対策本部長は、前条の申請書を受理したときは、内容を審査し、承認したときは譲渡承認書(別記様式第7号)により、承認しないときはその旨を記載した通知書により申請者に通知するものとする。

(受領書)

第13条 前2条の規定により用具の譲渡を受ける競技団体は、受領書(別記様式第8号)を対策本部長に提出しなければならない。

(譲渡条件)

第14条 用具の譲渡にあたり、次の各号に掲げる条件を付す。

- (1) 譲渡される用具は、管理責任者の責任の下、適切に使用すること。
- (2) 譲渡される用具の所在は、管理責任者が責任をもって把握すること。
- (3) 譲渡される用具の処分は、譲渡を受けた団体が適切に処分すること。
- (4) 譲渡を受けた団体は、管理状況を把握し、事故等が生じた場合は責任を持って対応すること。

2 対策本部長は、前項各号に掲げる条件のほか、必要と認める条件を付することがある。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から適用する。

栃木県競技力向上対策本部後援名義等の使用承認に関する事務取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、栃木県競技力向上対策本部事業に係る競技団体（以下「主催者」という。）が主催する行事に対する栃木県競技力向上対策本部の後援、共催等の名義（以下「後援名義等」という。）の使用の承認に関し必要な事項を定めるものとする。

(後援名義等の区分)

第2条 栃木県競技力向上対策本部の後援名義等の使用の承認に当たっては、次の各号に掲げる場合に応じ、当該各号に定める名義によるものとする。

(1) 行事の趣旨に賛同し、その開催を支援する場合 「後援」

(2) 行事の企画又は運営に参加し、当該主催者と共同して責任の一部を分担する場合 「共催」

2 前項の規定にかかわらず、特に主催者の要望がある場合等、前項各号に定める名義により難しい場合は、協賛等当該行事に応じた名義によることができる。

(承認の基準)

第3条 後援名義等の使用承認に係る行事が次に掲げる基準を満たしていると認められるときは、当該行事の後援名義等の使用を承認することができる。

(1) 当該行事の目的、規模、対象者等を総合的に判断して栃木県の競技力向上に寄与すると認められるものであること。

(2) 当該行事が公序良俗に反しないもの、その他社会的な非難を受けるおそれのないものであること。

(3) 当該行事が宗教的又は政治的色彩を有しないものであること。

(4) 当該行事が私的な利益を目的とするものでないこと。

(5) 主催者の存在が明確であり、行事遂行能力が十分であると認められるものであること。

(6) 行事開催の場所が公衆衛生、災害防止等について十分な設備及び措置の講じられているものであること。

(7) 当該行事の登壇者、発言者等が2人以上いる場合は、その性別に偏りがないよう努められているものであること。

(申請の手続き等)

第4条 栃木県競技力向上対策本部に対する後援名義等の使用承認の申請は、後援名義等使用承認申請書（別記様式第1号）によるものとする。

2 前項の申請書を受理した本部長は、当該行事に係る後援名義等の使用の承認の可否について審査し、その結果を遅滞なく申請者に通知するものとする。

3 前項の通知は、別記様式第2号又は、別記様式第3号によるものとし、必要に応じ所要の補正を加えるものとする。ただし、これにより難しい場合は、この限りではない。

(承認の条件)

第5条 後援名義等の使用を承認する場合は、次の条件を付するものとする。

- (1) 承認期間は、承認した日から当該行事終了の日までとし、6ヶ月を限度とすること。ただし、引き続き申請のある場合又は行事の性格上やむを得ない場合は、この限りではない。
- (2) 承認後において行事計画に変更があった場合は、直ちに届けさせること。
- (3) 必要があると認めるときは、主催者に対し、実施報告書（別記様式第4号）の提出を求めること。
- (4) その他必要と認められる事項

附 則

この要領は、令和6(2024)年4月1日から実施する。

別記様式第1号（第4条関係）

後援（共催）名義使用承認申請書

年 月 日

栃木県競技力向上対策本部
本部長 様

申請者 住所（法人にあつては主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあつては法人名及び代表者の氏名）

下記の行事について、後援（共催）名義の使用を承認くださるよう申請します。

記

- 1 行事名
- 2 行事の主催者（共催を含む。）後援者等
- 3 行事の趣旨
- 4 実施時期
- 5 実施場所
- 6 参加対象者
- 7 その他参考事項（資料添付）

別記様式第4号（第5条関係）

後援（共催）行事実施報告書

年 月 日

栃木県競技力向上対策本部
本部長 様

申請者 住所（法人にあつては主たる事務所の所在地）
氏名（法人にあつては法人名及び代表者の氏名）

年 月 日付け後援（共催）名義の使用の承認のあつた下記の行事について、次のとおり終了したので報告します。

記

- 1 行事名
- 2 実施時期
- 3 実施場所
- 4 実施結果の概要（資料添付）

Ⅲ

国民スポーツ大会関係



特別国民体育大会成績概況

1 成績概況

(1) 冬季大会

冬季大会ではスケート競技、アイスホッケー競技、スキー競技の3競技が実施され、選手・監督86名が出場した。延べ8種目で入賞となり、天皇杯88点を獲得し17位、皇后杯では36点を獲得し20位となった。

スケート競技では、スピードスケート、ショートトラック、フィギュアの3種目が実施された。成年男子は、予選から安定した滑りを見せ、出場した1500m、5000mの両方で3位入賞となり、表彰台に立った。ショートトラックでは入賞こそならなかったものの、少年男子500m、1000mで予選を突破し、準々決勝へ進出した。

アイスホッケー競技では少年男子は、1回戦、準々決勝と快勝し、準決勝戦では北海道と対戦したが牙城を崩せず0-9で敗退したが、4位入賞を果たした。

スキー競技では、成年女子Aジャイアントスラロームで7位入賞、同じく少年女子でも3位入賞に輝いた。

(2) 本大会

本大会では正式競技37競技、特別競技1競技が実施され、選手・監督369名が出場した。

9月16日から24日まで行われた会期前競技では、レスリング競技、体操競技、水泳競技で多くの入賞があり、栃木県選手団に勢いを付けた。会期前競技が終了し、天皇杯20位、皇后杯22位となり、本会期競技を迎えることとなった。

10月7日に総合開会式を迎えた本会期競技では会期前競技の勢いそのまま連日、上位進出や入賞を果たすことができた。そして、17日に総合閉会式を終え、国体が幕を閉じた。

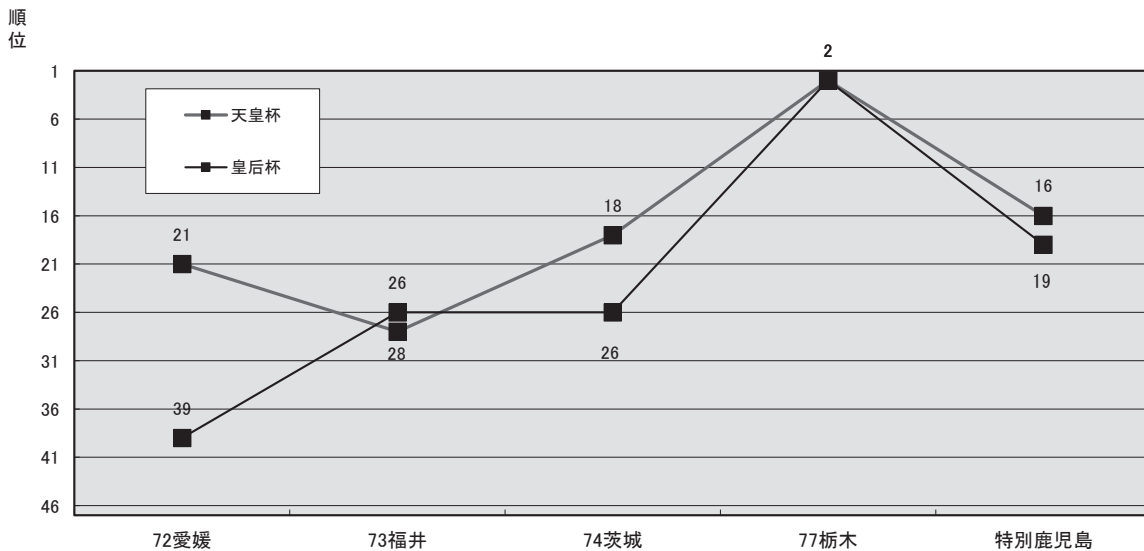
本大会が終了し、競技別総合成績優勝こそ逃したものの、陸上競技、ホッケー競技、ウェイトリフティング競技、馬術競技、ライフル射撃競技、スポーツクライミング競技、カヌー競技などにおいて多数の種別で入賞を果たすことができた。本大会では栃木県選手団として、入賞は24競技で延べ85種目となった。

(3) 総評

冬季大会・本大会と各競技で熱戦が繰り広げられ、総合成績は天皇杯1225.5点で16位、皇后杯636.5点で19位となり、目標としていた10位台という結果を納めることができた。

いちご一会とちぎ国体が終了してはじめての国体であった今大会は、本来の栃木の実力が試される大会となった。関東ブロック大会での苦戦もあり本大会の出場者数は多くなかったが、選手ひとりひとりの活躍が確実に得点に結びつき10位台の結果を納めることに繋がった。今後も各競技団体が積み重ねてきた指導者の養成、資質の向上や選手の発掘・育成・強化のノウハウを活かし、本県の競技力向上に繋げていきたいと考える。

2 5カ年の天皇杯・皇后杯順位と獲得得点(得点は参加点を含む)



	第72回(愛媛)	第73回(福井)	第74回(茨城)	第77回(栃木)	特別(鹿児島)
天皇杯	964	875.5	1075.5	2270.5	1225.5
皇后杯	461	538.5	551	1092	636.5

3 各種別の獲得競技得点

	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		合計
冬季大会	12		10		30		6		58
本大会	254		184		253		76.5		767.5
合計	266	32.2%	194	23.5%	283	34.3%	82.5	10.0%	825.5
	460		55.7%		365.5		44.3%		

国民スポーツ大会総合成績算出方法について

1 総合成績概要

冬季大会・本大会で計40競技が行われ、各競技で8位以内に入賞すると競技得点が与えられます。競技ごとに各都道府県競技得点と参加得点を合計し、各都道府県の競技別総合成績が決まります。

全競技の参加得点と競技得点を合計して、都道府県男女総合成績と女子総合成績を決定し、第1位の都道府県には、それぞれ天皇杯と皇后杯が授与されます。

冬季大会(3競技)	+	本大会(37競技)	=	男女総合成績(天皇杯) 女子総合成績(皇后杯)
-----------	---	-----------	---	----------------------------

2 競技別(正式競技)総合成績算出方法

◇競技得点

区分	競 技	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	備 考
個人競技 または 個人種目	陸上競技、水泳(競泳、飛込、オープンウォータースイミング)、ローイング(シングルスカル)、セーリング(国体ウインドサーフィン級、ILCA7級、ILCA6級)、ウエイトリフティング、自転車競技(4kmチームパシュート、チーム・スプリント除く)、馬術、ライフル射撃、カヌー(シングル及びペア種目)、ボウリング(個人戦)、トライアスロン、スケート、スキー、体操(トランポリン) ☆陸上競技、水泳(競泳)、馬術、スケートのリレーは個人種目扱い	8	7	6	5	4	3	2	1	全順位を決定する場合
	空手道(個人組手、形)	8	7	6	5	2.5			1~5位の順位を決定する場合	
	ボクシング、レスリング	8	7	5.5		2.5			1・2・3・5位の順位を決定する場合	
競技人数 2~4人の 団体競技	水泳(アーティスティックスイミング)、テニス、ローイング(ダブルスカル)、セーリング(470級、セーリングスピリッツ級、420級)、自転車(4kmチームパシュート、チーム・スプリント)、フェンシング、弓道、スポーツクライミング、カヌー(フォア種目)、アーチェリー、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング(団体戦)、ゴルフ、フィギュアスケート	24	21	18	15	12	9	6	3	全順位を決定する場合
	バレーボール(ビーチバレーボール)	24	21	18	15	10.5		4.5		1・2・3・4・5・7位の順位を決定する場合
	相撲(成年男子)、バドミントン、剣道(成年女子)	24	21	18	15	7.5			1~5位の順位を決定する場合	
	卓球	24	21	16.5		7.5			1・2・3・5位の順位を決定する場合	
競技人数 5~7人の 団体競技	ローイング(舵付きフォア、舵手つきクォドルブル)、体操(競技、新体操)、ソフトテニス、アイスホッケー	40	35	30	25	20	15	10	5	全順位を決定する場合
	水泳(水球)、ハンドボール、相撲(少年男子)、柔道、剣道(成年男子、少年男子、少年女子)、空手道(組手団体)	40	35	30	25	12.5			1~5位の順位を決定する場合	
	バレーボール	40	35	30	25	17.5		7.5		1~5・7の順位を決定する場合
	バスケットボール	40	35	27.5		12.5			1・2・3・5位の順位を決定する場合	
	ラグビーフットボール(成年男子・女子)	40	35	30	25	20	15	7.5		1~7位の順位を決定する場合
競技人数 8人以上の 団体競技	軟式野球	64	56	48	40	32	24	16	8	全順位を決定する場合
	サッカー、ホッケー	64	56	48	40	20			1~5位の順位を決定する場合	
	ラグビーフットボール(少年男子)	64	56	44		28		12		1・2・3・5・7位の順位を決定する場合
	ソフトボール	64	56	44		20			1・2・3・5位の順位を決定する場合	

3 参加得点

大会(ブロック大会を含む)に参加した競技については、①参加種別にかかわらず、男女総合成績(天皇杯成績)へ10点、②女子種別(成年女子・少年女子・女子のいずれか)が参加していれば女子総合成績(皇后杯成績)へ10点がそれぞれ与えられます。

※種別については、成年男子、成年女子、少年男子、少年女子、女子の区別をいいます。

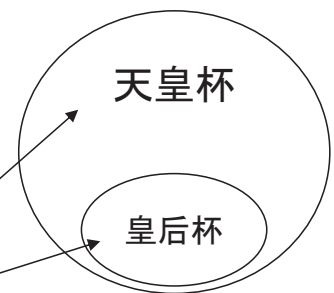
4 男女総合得点(天皇杯得点)

全種別の競技得点を都道府県ごとに集計し、参加得点を加算します。

5 女子総合得点(皇后杯得点)

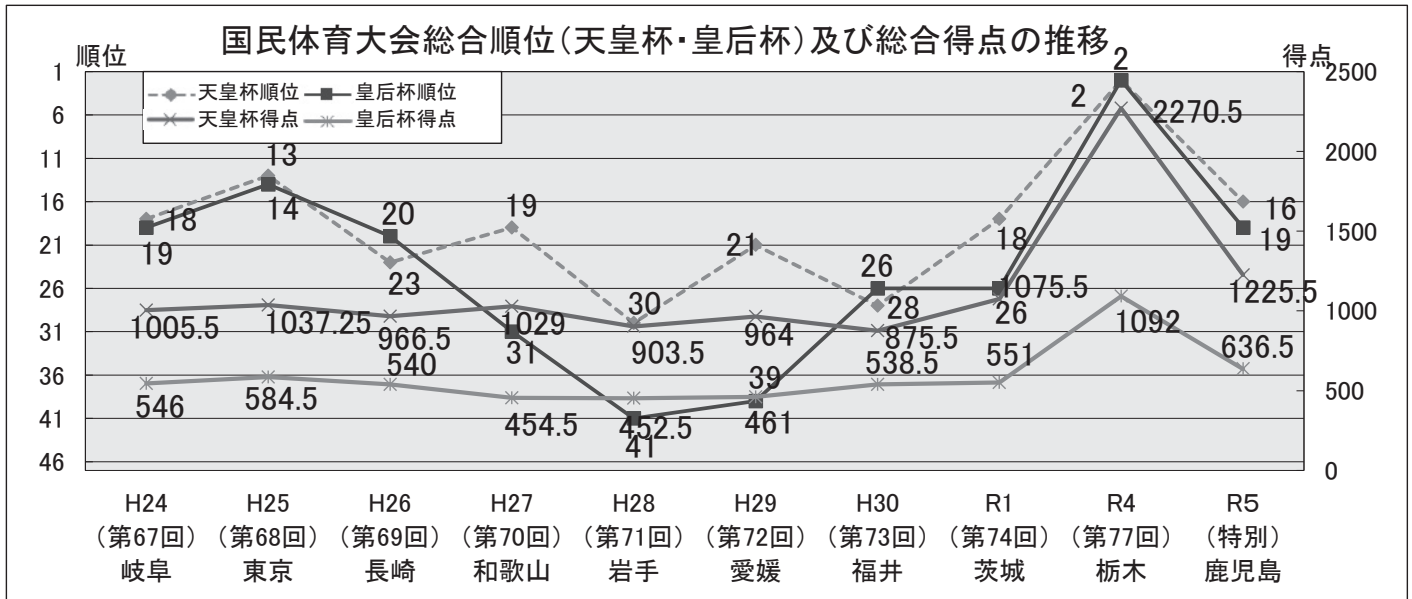
女子種別の競技得点を都道府県ごとに集計し、参加得点を加算します。

競技得点	+	参加得点	=	男女総合成績(天皇杯) 女子総合成績(皇后杯)
------	---	------	---	----------------------------



国民体育大会における本県総合成績の推移

1 国民体育大会総合順位(天皇杯・皇后杯)及び総合得点の推移



2 高得点獲得競技数の比較

		平成29年 第72回(愛媛他)		平成30年 第73回(福井他)		令和元年 第74回(茨城)		令和4年 第77回(栃木)		令和5年 特別(鹿児島)	
栃木県	天皇杯順位	21位		28位		18位		2位		16位	
	皇后杯順位	39位		26位		26位		2位		19位	
	全都道府県総得点	51126		51035		50725		51420		51478	
	天皇杯得点	964		875.5		1075.5		2270.5		1225.5	
	得点割合	1.89%		1.72%		2.12%		4.42%		2.38%	
	入賞競技数	19		14		14		34		24	
	高得点領域	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上
	冬季大会	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	本大会	4	1	4	0	2	2	12	6	4	1
	本県高得点競技数	6		4		5		19		5	
競技名	1 ホッケー	4 山岳	1 ホッケー	4 ゴルフ	1 ホッケー	4 馬術	1 ホッケー	4 馬術	1 ホッケー	4 スポーツツライミング	
	(110)	(55)	(94)	(53.5)	(202)	(62)	(162)	(133)	(176)	(54)	
	2 ソフトボール	5 弓道	2 弓道	/	2 ソフトボール	5 水泳	2 剣道	5 体操	2 カヌー	5 馬術	
(70)	(52)	(88)	/	(110)	(54)	(154)	(128)	(61)	(50)		
3 アイスホッケー	6 水泳	3 水泳	/	3 アイスホッケー	/	3 ソフトボール	6 ラグビーフットボール	3 ソフトボール	/		
(55)	(50)	(60.5)	/	(65)	/	(142)	(104)	(60)	/		
天皇杯 10位県	県名	北海道		兵庫県		福井県		京都府		兵庫県	
	天皇杯得点	1287.5		1312.5		1391		1332.5		1415	
	皇后杯順位	15位		9位		11位		9位		5位	
	得点割合	2.52%		2.57%		2.74%		2.59%		2.75%	
	高得点領域	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上
	冬季大会	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	本大会	1	0	5	1	6	1	8	2	4	4
	高得点競技数	4		7		8		10		9	
天皇杯 15位県	県名	広島県		京都府		鹿児島県		長野県		三重県	
	天皇杯得点	1123.5		1156		1151		1152.5		1274.5	
	皇后杯順位	16位		19位		12位		13位		14位	
	得点割合	2.20%		2.27%		2.27%		2.24%		2.48%	
	高得点領域	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上	50~100	100以上
	冬季大会	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
	本大会	7	0	3	1	4	0	4	0	5	0
	高得点競技数	7		5		4		6		5	

国民体育大会における本県選手団競技得点の推移

年度	H9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
競技名	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	特別
1 スケート	26	32	3	9	3	6	9	18	28	37	12	11	21		8	3	10	12	2		9			14	42	84	22
2 アイスホッケー	20	65	50	55	37.5	40	35	30	40	20	30	15	30		15	50	45	65	45	60	45	35	55	40		20	25
3 スキー			2							6	2	2									5		4	7	-	6	11
4 陸上競技	36	18	27	32	20	19	23	20	30	45.5	39	26	14	23.5	30	38	30	29	10	21	14	6	17.5	-	-	52.5	31
5 水泳	7	12	5	17	16	18	11	30	24	37	47	27	51	43	42	93	98	67.5	66.5	64.5	40	50.5	44	-	-	60.5	45
6 サッカー		12.5				12.5	64	60	60		40		48											-	-	60	0
7 テニス						40																		-	-	12	18
8 ボート													3	6			6.5							-	-	20	2
9 ホッケー		47.5	42.5	47.5	25	42.5	20	108	40	44	96	40	96	116	88	96	68	48	124	20	100	84	192	-	-	152	176
10 ボクシング	28.5	41	15.5	30	20.5	5	5	8		18	10.5	9.5	8	8	10.5	26	36		29.5	26	30	20.5		-	-	33.5	15
11 バレーボール	25	17.5									7.5	7.5						7.5						-	-	17.5	4.5
12 体操																								-	-	118	35
13 バスケットボール				12.5			12.5						12.5			12.5	40				52.5	35		27.5	-	-	0
14 レスリング	18	10.5	5.5	19.5	15	5	20	13	20.5	18.5	15.5	29	13	8	18	10.5	13	20.5	17.5	13	15.5	13	8	-	-	41	26
15 セーリング																								-	-	14	10
16 ウェイトリフティング	26	36	43	46	35	43	27	25	21	43	38	38	30	42	21	33	23	14	32	29	6	21	32	-	-	61	28
17 ハンドボール	12.5	30			12.5																			-	-	12.5	0
18 自転車	6	31	2	15			16	6	1	5	37	3	6	38	5	12	7	10	3	9	29	7	15	-	-	76	5
19 ソフトテニス				25								30												-	-	5	0
20 卓球			12.5	35	27.5																			-	-	24	16.5
21 軟式野球							8	40			8													-	-	0	0
22 相撲																								-	-	0	0
23 馬術	9	14.5	12	11	29	10	9	3	6	2	12	23.5	17	31.5	38	8	0.25	14	7	14.5	32	39	52	-	-	123	50
24 フェンシング			5	5						3			6	3			15		12		15			-	-	33	24
25 柔道					25			12.5	12.5	12.5		30	12.5	25		25	15	12.5	37.5				12.5	-	-	40	12.5
26 ソフトボール								44			52	36		36	56		88	100	44	64	60		100	-	-	132	60
27 バドミントン																	7.5					21		-	-	7.5	7.5
28 弓道	41.6	32.5		35		17.5	24	48	30	39	36	45	42	24	42	60	30	84	42		42	78		-	-	78	45
29 ライフル射撃	2	4		11	8	12	40	24	13	12	27	18	11	33	37	27	8	21	32	20	13	18	27	-	-	28	16
30 剣道	12.5	25		12.5	25			12.5	12.5	25			12.5	12.5	30		25		12.5				20	-	-	144	0
31 ラグビーフットボール															44	28					44			-	-	94	19.5
32 スポーツクライミング	35	32.5		10		6		3		24	39	30	45	42		54	30	45	51	33	45	39	24	-	-	78	54
33 カヌー		6						3		39	15		1	1	7									-	-	80	61
34 アーチェリー															15									-	-	0	0
35 空手道	18.5	8	13	7		11	15	7.5	2.5			5				2.5			6					-	-	67	0
36 銃剣道																			9	-	-	-	-	-	-	45	6
37 クレー射撃					40				21	21	33	42	24	21		18	21		33	18	21		33	-	-	-	-
38 なぎなた																								-	-	33	0
39 ボウリング		8			3.5			4		21	21	28		5		6							12	-	-	0	0
40 ゴルフ					30	30		9	19.5		15	15	4.5	10.5	13.5	3	21	16.5	13.5	15	7.5	43.5		-	-	21	0
41 トライアスロン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0
獲得競技得点	323.6	483.5	238	435	332.5	357.5	338.5	528.5	381.5	472.5	632.5	510.5	508.0	529.0	520.0	605.5	637.25	566.5	629.0	503.5	564.0	475.5	675.5	61.0	42.0	1870.5	825.5
得点獲得競技数	16	20	14	19	16	17	16	22	17	20	22	22	22	20	18	20	22	16	21	16	19	14	17	3	1	34	27
天皇杯順位	37	26	44	27	40	37	39	28	38	27	22	29	26	27	27	18	13	23	19	30	21	28	18	19	19	2	16
皇后杯順位	32	31	45	40	47	39	47	30	45	34	25	40	38	34	22	19	14	20	31	41	39	26	26	30	18	2	19

※ ーは未実施競技。なお、R2、3は新型コロナウイルス感染症の影響により本大会を延期。そのため、天皇杯・皇后杯順位は冬季大会終了時点の順位である。

国民体育(スポーツ)大会のあゆみ

回	年	本大会	冬季大会	本県順位		優勝都道府県		備考
				天皇杯	皇后杯	天皇杯	皇后杯	
1	21	京阪神地区を中心とした近畿地区	青森			—	—	—
2	22	石川	—			—	—	—
3	23	福岡	岩手・長野	42	22	東京	京都	冬・夏・秋
4	24	東京	長野・北海道	21	20	東京	東京	冬・夏・秋
5	25	愛知	北海道・山形	14	9	東京	東京	冬・夏・秋
6	26	広島	青森・新潟	22	7	北海道	北海道	冬
						東京	東京	夏・秋
7	27	福島・宮城・山形	栃木・北海道	20	6	北海道	北海道	冬
						東京	東京	夏・秋
8	28	愛媛・香川 徳島・高知	岩手・秋田	17	11	北海道	北海道	冬
						東京	東京	夏・秋
9	29	北海道	北海道・長野	22	11	北海道	北海道	冬
						奈良	奈良	水泳
						東京	東京	夏・秋
10	30	神奈川	長野・北海道	30	32	東京都	東京都	
11	31	兵庫	青森	33	35	東京都	東京都	
12	32	静岡	栃木・兵庫	38	29	静岡県	東京都	
13	33	富山	岩手・北海道	5	22	東京都	東京都	
14	34	東京・埼玉	北海道・山形	13	17	東京都	東京都	
15	35	熊本	長野	22	24	東京都	東京都	
16	36	秋田	長野・新潟	28	19	東京都	東京都	
17	37	岡山	青森・北海道	27	13	東京都	東京都	
18	38	山口	北海道・宮城	26	9	東京都	東京都	
19	39	新潟	神奈川・新潟	32	20	新潟県	新潟県	
20	40	岐阜	長野・兵庫	29	14	岐阜県	岐阜県	
21	41	大分	岩手・北海道	31	12	大分県	東京都	
22	42	埼玉	栃木・青森	22	13	埼玉県	埼玉県	
23	43	福井	北海道・長野	30	11	福井県	東京都	
24	44	長崎	山梨・岐阜	31	11	長崎県	長崎県	
25	45	岩手	長野・北海道	27	14	岩手県	大阪府	
26	46	和歌山	青森・秋田	26	23	和歌山県	大阪府	
27	47	鹿児島	栃木・鳥取	26	27	鹿児島県	鹿児島県	
28	48	千葉	岩手・新潟	20	16	千葉県	東京都	
29	49	茨城	北海道・福島	23	14	茨城県	茨城県	
30	50	三重	山梨・北海道	19	15	三重県	三重県	
31	51	佐賀	栃木・富山	36	23	佐賀県	東京都	
32	52	青森	青森	25	39	青森県	東京都	
33	53	長野	長野	13	8	長野県	長野県	
34	54	宮崎	岩手・秋田・北海道	4	5	宮崎県	宮崎県	
35	55	栃木	北海道	1	1	栃木県	栃木県	
36	56	滋賀	山梨・新潟	27	16	滋賀県	滋賀県	
37	57	島根	栃木・秋田	18	26	島根県	島根県	
38	58	群馬	群馬	17	27	群馬県	群馬県	
39	59	奈良	北海道・山形	25	33	奈良県	奈良県	
40	60	鳥取	青森・群馬	16	29	鳥取県	鳥取県	
は開催県以外が天皇杯・皇后杯を獲得								

回	年	本大会	冬季大会	本県順位		優勝都道府県		備考
				天皇杯	皇后杯	天皇杯	皇后杯	
41	61	山梨	山梨・北海道	19	28	山梨県	山梨県	
42	62	沖縄	長野	29	26	沖縄県	沖縄県	
43	63	京都	群馬・岩手	25	28	京都府	京都府	
44	平元	北海道	北海道	18	32	北海道	北海道	
45	2	福岡	岩手・青森	24	35	福岡県	福岡県	
46	3	石川	長野・新潟	32	25	石川県	石川県	
47	4	山形	山形	21	22	山形県	山形県	
48	5	香川・徳島	青森・鳥取	24	22	香川県	香川県	
49	6	愛知	群馬・宮城	27	28	愛知県	愛知県	
50	7	福島	福島	33	38	福島県	福島県	
51	8	広島	栃木・岐阜	19	19	広島県	広島県	
52	9	大阪	北海道・秋田	37	32	大阪府	大阪府	
53	10	神奈川	岩手	26	31	神奈川県	神奈川県	
54	11	熊本	長野・北海道	44	45	熊本県	熊本県	
55	12	富山	青森・富山	27	40	富山県	富山県	
56	13	宮城	山梨・長野	40	47	宮城県	宮城県	
57	14	高知	北海道・新潟	37	39	東京都	東京都	
58	15	静岡	群馬・北海道	39	47	静岡県	静岡県	
59	16	埼玉	青森・山形	28	30	埼玉県	埼玉県	
60	17	岡山	山梨・東京・岩手	38	45	岡山県	岡山県	
61	18	兵庫	北海道・群馬	27	34	兵庫県	兵庫県	
62	19	秋田	群馬・秋田	22	25	秋田県	秋田県	
63	20	大分	長野	29	40	大分県	大分県	
64	21	新潟	青森・新潟	26	38	新潟県	新潟県	
65	22	千葉	北海道	27	34	千葉県	千葉県	
66	23	山口	青森・秋田	27	22	山口県	山口県	
67	24	岐阜	愛知・岐阜	18	19	岐阜県	岐阜県	
68	25	東京	東京・秋田・福島	13	14	東京都	東京都	
69	26	長崎	栃木・山形	23	20	長崎県	東京都	
70	27	和歌山	群馬	19	31	和歌山県	東京都	
71	28	岩手	岩手	30	41	東京都	東京都	
72	29	愛媛	長野	21	39	東京都	東京都	
73	30	福井	山梨・神奈川・新潟	28	26	福井県	福井県	
74	令元	茨城	北海道	18	26	茨城県	茨城県	
75	2	鹿児島	富山・青森	19	30	-	-	冬季大会のみ
76	3	三重	岐阜・愛知・秋田	19	18	-	-	冬季大会のみ (スキー中止)
77	4	栃木	栃木・秋田	2	2	東京都	東京都	
特別	5	鹿児島	青森・岩手	16	19	東京都	東京都	特別国体
78	6	佐賀	北海道・山形					国民スポーツ大会 (名称変更)
79	7	滋賀	岡山・群馬・秋田					
80	8	青森	青森					
81	9	宮崎						
82	10	長野	長野					
83	11	群馬						
84	12	島根						
85	13	奈良						

第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 競技日程・会場・アクセス

No.	競 技		競 技 日 程	会場地名	競 技 会 場 名	所在地	主なアクセス	
1	水泳	水球	少年男子・少年女子	甲府市	小瀬スポーツ公園水泳場	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
		アーティスティック スイミング	少年女子					7月14日(日)
2	サッカー	成年女子	8月10日(土)・11日(日)	昭和田	押原公園(天然芝グラウンド・人工芝グラウンド)	中巨摩郡昭和町押越1500-1	「JR身延線国母駅」より徒歩20分	
		少年男子	8月10日(土)・11日(日)	韮崎市	韮崎中央公園(陸上競技場・芝生広場)	韮崎市藤井町北下条2531	「JR中央線韮崎駅」よりタクシー10分	
		少年女子	8月17日(土)・18日(日)	昭和田	押原公園(天然芝グラウンド・人工芝グラウンド)	中巨摩郡昭和町押越1500-1	「JR身延線国母駅」より徒歩20分	
3	テニス	成年男女	8月3日(土)・4日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園テニスコート	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
4	ローイング	全種別	7月12日(金)・13日(土)	富士河口湖町	河口湖漕艇場	南都留郡富士河口湖町河口3131	「富士急行線河口湖駅」から富士急行バス「河口湖美術館」下車	
5	ホッケー	全種別	8月23日(金)～26日(月)	南アルプス市	県立白根高等学校第二運動場	南アルプス市上今諏訪850-1	「JR竜王駅」よりタクシー15分	
				甲府市	山梨学院ホッケースタジアム	甲府市酒折1-18-6	「JR酒折駅」より徒歩5分	
6	バレー ボール	6人制	成年男子	8月24日(土)	甲府市	甲府市総合市民会館	甲府市青沼3-5-44	「JR甲府駅」から山梨交通バス「総合市民会館」で下車
			成年女子	8月24日(土)	甲府市	緑が丘スポーツ公園体育館	甲府市緑が丘2-8-2	「JR甲府駅」から山梨交通バス「塩部」下車、徒歩5分
			少年男子	8月24日(土)・25日(日)	甲府市	甲府市総合市民会館	甲府市青沼3-5-44	「JR甲府駅」から山梨交通バス「総合市民会館」で下車
			少年女子	8月24日(土)・25日(日)	甲府市	緑が丘スポーツ公園体育館	甲府市緑が丘2-8-2	「JR甲府駅」から山梨交通バス「塩部」下車、徒歩5分
		ビーチバレーボール	少男・少女	7月20日(土)・21日(日)	北杜市	白州体育館サンドコート	北杜市白州町鳥原2913-208	「JR小淵沢駅」よりタクシー10分
7	体操	体操競技	全種別	7月13日(土)・14日(日)	甲府市	緑が丘スポーツ公園体育館	甲府市緑が丘2-8-2	「JR甲府駅」から山梨交通バス「塩部」下車、徒歩5分
		新体操	少男・少女	7月12日(金)・13日(土)				
		トランポリン	男子・女子	7月13日(土)	山梨市	山梨市民総合体育館	山梨市上石森701	「JR山梨市駅」よりタクシー6分
8	バスケットボール	全種別	8月24日(土)・25日(日)	富士吉田市	富士北麓公園体育館	富士吉田市長吉田立石5000	「富士急行線富士山駅」よりタクシー15分	
					鐘山スポーツセンター総合体育館	富士吉田市長吉田9-4-18	「富士急行線富士山駅」よりタクシー10分	
9	ウエイトリフティング	成年男子・少年男子	8月16日(金)～18日(日)	山梨市	山梨市民総合体育館	山梨市上石森701	「JR山梨市駅」よりタクシー6分	
10	ハンドボール	成年男子	8月23日(金)～25日(日)	甲州市	甲州市塩山体育館	甲州市塩山小屋敷1854	「JR塩山駅」よりタクシー8分	
		成年女子		山梨市	山梨市民総合体育館	山梨市上石森701	「JR山梨市駅」よりタクシー6分	
		少年男子		甲府市	小瀬スポーツ公園体育館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
		少年女子						
11	ソフトテニス	成年男子	8月17日(土)・18日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園テニスコート	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
12	卓球	成年男子	8月17日(土)・18日(日)	甲府市	緑が丘スポーツ公園体育館	甲府市緑が丘2-8-2	「JR甲府駅」から山梨交通バス「塩部」下車、徒歩5分	
13	軟式野球	成年男子	8月24日(土)・25日(日) 予備日26日(月)	甲府市	小瀬スポーツ公園山日YBS球場	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
					緑が丘スポーツ公園野球場	甲府市緑が丘2-8-2	「JR甲府駅」から山梨交通バス「塩部」下車、徒歩5分	
				富士吉田市	富士北麓公園野球場	富士吉田市長吉田立石5000	「富士急行線富士山駅」よりタクシー15分	
14	馬術	成年男子	6月29日(土)・30日(日)	北杜市	山梨県馬術競技場	北杜市小淵沢町10060-3	「JR小淵沢駅」よりタクシー5分	
15	フェンシング	成年男子	8月17日(土)・18日(日)	甲府市	甲府市総合市民会館	甲府市青沼3-5-44	「JR甲府駅」から山梨交通バス「総合市民会館」で下車	
16	柔道	成年男子	8月18日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園武道館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
17	ソフトボール	成年男子	8月17日(土)～19日(月)	笛吹市	花鳥の里スポーツ広場グラウンド	笛吹市御坂町大野寺250	「JR石和温泉駅」から富士急バス「大野寺」下車、徒歩5分	
		成年女子		甲府市	小瀬スポーツ公園球技場	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
		少年男子		甲斐市	双葉スポーツ公園グラウンド	甲斐市岩森2732番地	「JR塩崎駅」よりタクシー5分	
		少年女子		笛吹市	いちのみや緑の里スポーツ公園グラウンド	笛吹市一宮町末木1001	「JR石和温泉駅」よりタクシー15分	
18	バドミントン	成年男子	8月17日(土)・18日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園体育館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
19	弓道	全種別	8月18日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園武道館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
20	ライフル射撃	全種別	8月17日(土)・18日(日)	埼玉県長瀬町	埼玉県長瀬射撃場	埼玉県秩父郡長瀬町大字野上下郷2395-1	「秩父鉄道長瀬駅」よりタクシー10分	
21	剣道	成年男子	8月24日(土)	甲府市	小瀬スポーツ公園武道館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
22	ラグビーフットボール	成年男子(7人制)	8月24日(土)	南アルプス市	御勅使南公園ラグビー場	南アルプス市六科1588-2	「JR甲府駅」から山梨交通バス「御勅使南公園」下車	
		少年男子(15人制)	8月23日(金)、25日(日)					
		女子	8月25日(日)	甲府市	山梨学院大学和戸ラグビー場	甲府市和戸町670-1	「JR酒折駅」より徒歩10分	
23	スポーツ クライミ ング	リード	成年男子・少年男子	北杜市	LOKU BOKU(ロクボク)	北杜市高根町長沢2141	「JR長坂駅」よりタクシー16分	
		ボルダラー						
24	カヌー	スプリント	全種別	7月6日(土)・7日(日)	富士河口湖町	精進湖カヌー競技場	南都留郡富士河口湖精進	「富士急行河口湖駅」から富士急行バス「ハノラマ台」下車
		スラローム ワイルドウォーター	男子・女子	6月1日(土)・2日(日)	東京都青梅市	御岳渓谷特設カヌー競技場	東京都青梅市御岳本町310	「JR御嶽駅」より徒歩2分
25	アーチェリー	全種別	8月18日(日)	甲斐市	敷島総合公園多目的運動場	甲斐市牛久2814	「JR竜王駅」よりタクシー15分	
26	空手道	全種別	6月22日(土)	甲府市	小瀬スポーツ公園武道館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
27	銃剣道	少年男子	8月18日(日)	富士吉田市	富士北麓公園体育館	富士吉田市長吉田立石5000	「富士急行線富士山駅」よりタクシー15分	
28	なぎなた	少年女子	7月14日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園武道館	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
29	ボウリング	全種別	7月13日(土)・14日(日)	甲斐市	ダイトスターレーン双葉	甲斐市下今井3681-1	「JR塩崎駅」よりタクシー5分	
30	ゴルフ	少年男子	6月20日(木)	北杜市	北の杜カントリー倶楽部	北杜市長坂町中島4402	「JR小淵沢駅」よりタクシー15分	
31	アイスホッケー (第79回冬季大会)	少年男子	12月6日(金)～8日(日)	甲府市	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ	甲府市小瀬町840	「JR甲府駅」から山梨交通バス「小瀬スポーツ公園」下車	
		成年男子	12月13日(金)～15日(日)					

第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 代表数一覧

季	No.	種 別		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	男子	女子	
		競 技 ・ 種 目								
本 大 会	1	水泳	水球			2			2	
			アーティスティックスイミング				4			
	2	サッカー			2	4	3			
	3	テニス			6	(S)	(S)	(S)		
	4	ローイング	舵手つきフォア	3						
			舵手つきクドルプル		3	2	3			
			ダブルスカル	(S)	2	3	2			
			シングルスカル	3	2	3	4			
	5	ホッケー			1	1	1	1		
	6	バレーボール	6人制	1	1	4	4			
			ビーチバレー			4	4			
	7	体操	競技	3	1	6	5			
			新体操			1	4			
			トランポリン						3	3
	8	バスケットボール			3	3	3	3		
	9	ウエイトリフティング			(S)+2		(S)+1			(S)
	10	ハンドボール			3	3	4	4		
	11	ソフトテニス			(S)	4	4	2		
	12	卓球			3	(S)	5	2		
	13	軟式野球			5					
	14	馬術	関東ブロック順位で人馬実数決定							
	15	フェンシング			(S)	4	3	3		
	16	柔道			4		(S)			5
	17	ソフトボール			2	2	2	1		
	18	バドミントン			2	(S)	5	2		
	19	弓道			4	4	3	3		
	20	ライフル射撃	FR3P FR40	5						
			FR60PR	4						
			AR60	4						
			AP60	5						
			CFP60 CFP30	(S)						
R3P R60PR				4						
AR60W AR60PRW				(S)						
AP60W				5						
ARMix			*1							
AR60J AR30J					4					
BR60J					(S)					
BP60J					3					
AR60WJ AR30WJ							4			
BR60WJ							4			
BP60WJ					2					
BRMix				*2						
21	剣道			(S)	3	3	3			
22	ラグビーフットボール			2		2			2	
23	スポーツクライミング			3	3	(S)	3			
24	カヌー	SP-K1	4	3	5	4				
		SP-K2			2	2				
		SP-K4			2					
		SP-C1	4	1	4					
		SP-C2			2					
		SL-K1	4	3						
		SL-C1	1	1						
		WW-K1	1	1						
25	アーチェリー			4	4	2	2			
26	空手道(形)			3	3	2	2			
27	銃剣道			(S)		2				
28	なぎなた(試合)				(S)		5			
29	ボウリング			4	4	4	4			
30	ゴルフ			(S)		5			(S)	
冬季	31	アイスホッケー			5	4				

(S)はストレート(関東ブロックを実施しない)種別・種目

* 1 AR60,AR60Wの競技本戦の合計点上位12都道府県が出場

* 2 BR60J,BR60WJの国スポ競技本戦の合計点上位12都道府県が出場

SAGA 2024 (令和6年度) 第78回国民スポーツ大会 競技会会期 【競技別】

式典	会場	式典会場	競技日数	競技日程											
				1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	
				10月											
				5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
総合開会式	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム	1	●											
総合閉会式	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	1												●

【正式競技(本会期)】 ※全種別(成年男子、成年女子、少年男子、少年女子)

競技名	種別	会場	競技会場	競技日数	競技日程												
					1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目		
					10月												
					5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
					土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
陸上競技	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム	5							●	●	●	●	●		
ホッケー	成年男子・成年女子	伊万里市	伊万里市国見台球技場	5	●	●	●	●	●								
	少年男子・少年女子		伊万里ホッケーフィールド(佐賀県立伊万里実業高等学校商業キャンパス運動場)	5	●	●	●	●	●								
バレーボール	6人制	成年男子	小城市	小城市芦刈文化体育館	4		●	●	●	●							
		成年女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	4		●	●	●	●							
		少年男子	吉野ヶ里町	吉野ヶ里町文化体育館	4		●	●	●	●							
		少年男子	みやき町	みやき町中原体育館	3			●	●	●							
		少年女子	鳥栖市	サロンプラス@アリーナ	4		●	●	●	●							
バスケットボール	成年男子・成年女子	唐津市	唐津市相知天徳の丘運動公園社会体育館	3						●	●	●					
	成年男子・成年女子		佐賀県立唐津工業高等学校体育館	3						●	●	●					
	成年男子・少年男子		唐津市文化体育館	5						●	●	●	●	●			
	成年女子・少年女子		唐津市鎮西スポーツセンター体育館	5						●	●	●	●	●			
レスリング	フリー	嬉野市	U-Spo(嬉野市中央体育館)	2		●	●										
	グレコローマン		U-Spo(嬉野市中央体育館)	2				●	●								
ウエイトリフティング	成年男子・女子・少年男子	有田町	歴史と文化の森公園焔の博記念堂	5		●	●	●	●	●							
ハンドボール	成年男子・少年男子	神崎市	神埼中央公園体育館	5						●	●	●	●	●			
	成年女子・少年女子		佐賀県立神埼高等学校体育館	3						●	●	●					
	成年男子・少年男子	小城市	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	2						●	●						
	成年女子		小城市芦刈文化体育館	4						●	●	●	●				
少年男子・少年女子	吉野ヶ里町	吉野ヶ里町文化体育館	4						●	●	●	●					
自転車	トラックレース	男子A・男子B・女子	武雄市	OddsPark TAKEO(武雄競輪場)	4		●	●	●	●							
	ロードレース	男子A・男子B・女子	大分県	オートポリス	1						●						
卓球	全種別	基山町	基山町総合体育館	5	●	●	●	●	●								
軟式野球	成年男子	唐津市	SHOWAハンバーガースタジアム唐津(唐津市野球場)	4							●	●	●	●			
	成年男子	伊万里市	伊万里市国見台野球場	3							●	●			●		
	成年男子	武雄市	ひげしんスタジアム(武雄市民球場)	2							●	●					
	成年男子	鹿島市	鹿島市民球場	2							●			●			
	成年男子	嬉野市	嬉野総合運動公園(みゆき公園) みゆき球場	2							●			●			
成年男子	有田町	有田赤坂球場	2							●	●						
相撲	成年男子・少年男子	玄海町	玄海町社会体育館	3		●	●	●									
馬術	成年男子・成年女子・少年	兵庫県	三木ホースランドパーク	5					●	●	●	●	●				
フェンシング	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ	4			●	●	●	●							
柔道	成年男子・女子・少年男子	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	3								●	●	●			
ソフトボール	成年男子	白石町	白石町総合運動場(白石中央公園多目的広場)	3								●	●	●			
	成年女子	小城市	牛津総合公園多目的グラウンド	3								●	●	●			
	成年女子	江北町	江北町立江北中学校グラウンド	3								●	●	●			
	少年男子	上峰町	上峰町中央公園多目的広場	3								●	●	●			
	少年男子	みやき町	みやき町三根運動場	3								●	●	●			
少年女子	太良町	太良町B&G海洋センター運動広場	3								●	●	●				
バドミントン	全種別	唐津市	唐津市文化体育館	4	●	●	●	●									
弓道	近的	多久市	多久市緑が丘弓道場	4	●	●	●	●									
	遠的		多久市緑が丘弓道場	3	●	●	●										
ラグビーフットボール	成年男子	佐賀市	SAGAサンライズパーク ボールフィールド	2			●	●									
	女子		SAGAサンライズパーク ボールフィールド	2				●	●								
	少年男子		SAGAサンライズパーク ボールフィールド	4		●	●		●	●							
スポーツライミング	リード・ボルダリング	全種別	多久市	九州クライミングベース SAGA	3							●	●	●			
カヌー	スプリント	全種別	佐賀市	佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場	4							●	●	●	●		
アーチェリー	全種別	鹿島市	鹿島市陸上競技場	3	●	●	●										
空手道	全種別	鳥栖市	鳥栖市民体育館	3								●	●	●			
銃剣道	成年男子・少年男子	大町町	大町町立ひじり学園後期課程体育館	3								●	●	●			
なぎなた	成年女子・少年女子	嬉野市	U-Spo(嬉野市中央体育館)	3								●	●	●			
ボウリング	全種別	佐賀市	ボウルアーガス	5			●	●	●	●	●						
ゴルフ	成年男子	武雄市	若木ゴルフ倶楽部	3	●	●	●										
	女子		武雄・嬉野カントリークラブ	3	●	●	●										
	少年男子		武雄ゴルフ倶楽部	3	●	●	●										
トライアスロン	成年男子・成年女子	唐津市	唐津市波戸・名護屋特設会場	1		●											

【正式競技（会期前1回目実施競技）】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 日数	競技日程													
					9月													
					5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	
水泳	競泳	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアクア	3										●	●	●	
	アーティスティックスイミング	少年女子		SAGAサンライズパーク SAGAアクア	1			●										
	水球	少年男子・女子		SAGAサンライズパーク SAGAアクア	4					●	●	●	●					
	飛込	全種別		SAGAサンライズパーク SAGAアクア	3											●	●	●
	オープンウォーター タースイミング	男子・女子	伊万里市	イマリンビーチ	1							●						
ローイング	全種別	佐賀市	佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場	4											●	●	●	●
バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子・少年女子	伊万里市	イマリンビーチ	4										●	●	●	●
体操	競技	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	4	●	●	●	●									
	トランポリン	男子・女子		SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	1								●					
カヌー	SL・WW	成年男子・成年女子	鹿児島県	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場	4										●	●	●	●

【正式競技（会期前2回目実施競技）】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 日数	競技日程											
					9月										10月	
					21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	1 火	
サッカー	成年女子・少年女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム	3		●		●	●							
	成年女子・少年女子		SAGAサンライズパーク セカスタ	3		●	●	●								
	成年女子・少年女子		SAGAサンライズパーク ポールフィールド	3	●	●	●									
	成年女子・少年女子		SAGAサンライズパーク ポールフィールド	3	●	●	●									
	成年女子・少年女子		佐賀市健康運動センター	2	●	●										
	少年男子	鳥栖市	駅前不動産スタジアム（鳥栖スタジアム）	4	●	●		●	●							
	少年男子	鳥栖市	鳥栖スタジアム北部グラウンド①	3	●	●	●									
少年男子	鳥栖市	鳥栖スタジアム北部グラウンド②	3	●	●	●										
テニス	全種別	佐賀市	SAGAサンライズパーク テニスフィールド	4	●	●	●	●								
	全種別		佐賀県立森林公園テニスコート	4	●	●	●	●								
体操	新体操	少年男子・少年女子	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	2			●	●							
セーリング	全種別	唐津市	佐賀県ヨットハーバー	4								●	●	●	●	
ソフトテニス	全種別	唐津市	松浦河畔公園庭球場	4	●	●	●	●								
	全種別		佐賀県立唐津東高等学校・唐津東中学校テニスコート	4	●	●	●	●								
ライフル射撃	25m	成年男子	佐賀市	佐賀県警察学校	3							●	●	●		
	10m	全種別	大分県	大分県立庄内屋内競技場	4							●	●	●	●	
	50m	成年男子・成年女子		大分県立庄内屋内競技場	3							●	●	●		
	BR・BP	少年男子・少年女子		湯布院スポーツセンター	3							●	●	●		
剣道	全種別	神崎市	神埼中央公園体育館	3								●	●	●		
クレール射撃	トラップ・スキート	成年	佐賀市	佐賀県射撃研修センター	4						●	●	●	●		

【特別競技】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 日数	競技日程											
					10月											
					1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	
高等学校野球	硬式	一	佐賀市	さがみどりの森球場	3		●	●		●						
	軟式	一	鳥栖市	鳥栖市民球場	3		●	●		●						

【公開競技】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 日数	競技日程
綱引	一	唐津市	唐津市文化体育館	2	8月24日（土）～8月25日（日）
武術太極拳	一	嬉野市	U-Spo（嬉野市中央体育館）	2	9月21日（土）～9月22日（日）
パワーリフティング	一	基山町	基山町総合体育館	3	9月6日（金）～9月8日（日）
ゲートボール	一	鳥栖市	鳥栖市陸上競技場	2	9月7日（土）～9月8日（日）
グラウンド・ゴルフ	一	鹿島市	蟻尾山公園	2	9月21日（土）～9月22日（日）
バウンドテニス	一	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ	2	8月24日（土）～8月25日（日）
エアロビック	一	武雄市	CableOne SPORTS PARK（武雄市民体育館）	2	8月24日（土）～8月25日（日）

第79回国民スポーツ大会冬季大会(岡山県・群馬県・秋田県)競技日程・会場一覧

1 会期

- (1) スケート競技会 (S T・F S)・アイスホッケー競技会
令和7年1月26日(日)～2月5日(水) うち10日間(1月31日：競技会なし)
- (2) スケート競技会 (S S)
令和7年1月26日(日)～1月29日(水) 4日間
- (3) スキー競技会
令和7年2月13日(木)～2月16日(日) 4日間

2 会場地

- (1) スケート競技会 (S T・F S)・アイスホッケー競技会 : 岡山県岡山市・倉敷市
- (2) スケート競技会(S S) : 群馬県渋川市
- (3) スキー競技会 : 秋田県鹿角市

3 日程及び会場

- (1) スケート競技会 (S T・F S)・アイスホッケー競技会

式典・競技種目		日程	会場
開始式		1月26日(日)	岡山芸術創造劇場ハレノワ
表彰式	スケート	1月30日(木)	ヘルスピア倉敷
	アイスホッケー	2月5日(水)	倉敷市芸文館
ショートトラック		1月27日(月)～28日(火)	岡山国際スケートリンク
フィギュア		1月27日(月)～30日(木)	ヘルスピア倉敷アイスアリーナ
アイスホッケー		2月1日(土)～5日(水)	岡山国際スケートリンク ヘルスピア倉敷アイスアリーナ

- (2) スケート競技会 (S S)

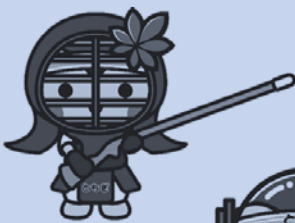
競技種目	日程	会場
スピードスケート	1月26日(日)～29日(水)	高崎健康福祉大学伊香保リンク

- (3) スキー競技会

式典・競技種目		日程	会場
開始式		2月13日(木)	鹿角市文化の杜交流館 コモッセ
表彰式		2月16日(日)	鹿角トレーニングセンター アルパス
ジャイアントスラローム		2月14日(金)～16日(日)	花輪スキー場
スペシャルジャンプ		2月14日(金)	
コンバインド(S J)		2月15日(土)	
コンバインド(C C)		2月15日(土)	
クロスカントリー		2月14日(金)～16日(日)	

IV

資料



令和5(2023)年度 全国中学校体育大会等の上位成績

	団 体			個 人			
	競 技	種 目	学 校 名	競 技	種 目	氏 名	学 校 名
優 勝				ウエイトリフティング	女子59kg級	上條 杏華	2 小 山 三
				ウエイトリフティング	女子45kg級	酒井 心音	2 小 山 三
2 位	アイスホッケー	男子	日 光 東	陸上競技	女子砲丸投	諏訪 彩乃	3 中 村
				弓道	女子	君波 咲妃	2 北 犬 飼
				ウエイトリフティング	男子73kg級	田口 大地	3 バ ン コ ク
3 位	ホッケー	女子	今 市	陸上競技	女子走高跳	渡邊 栞里	3 一 条
	弓道	女子	鬼 怒	陸上競技	女子四種競技	石原 南菜	3 足 利 二
				体操競技	種目別 鉄棒	谷田 智治	3 作 新
				柔道	男子66kg級	鉄炮塚 晋佑	3 国 分 寺
				柔道	男子90kg超級	佐藤 響希	3 国 分 寺
				ウエイトリフティング	女子55kg級	千野 月	2 小 山 三
				駅伝	女子 区間 4区	鈴木 愛唯	2 姿 川
ベ ス ト 8 以 内				スキー	女子 回転	池上 琴乃	3 高 林
	バドミントン	女子	小 山 二	陸上競技	7位:女子800m	長島 彩音	3 真 岡
	ホッケー	ベスト8:男子	東 原	陸上競技	5位:女子共通4×100R	厚木 ひまり 小沼 彩愛 島野 桜 石原 南菜	3 足 利 二
	ホッケー	ベスト8:女子	東 原	体操競技	5位:個人総合	谷田 智治	3 作 新
	弓道	5位:男子	豊 郷	剣道	ベスト8:個人	大河原 靖太	3 小 山 三
	弓道	5位:女子	北 犬 飼	バドミントン	ベスト8:女子ダブルス	瀬野 ひばり 永藤 輝音	3 小 山 二
	駅伝	5位:男子	三 島	ウエイトリフティング	4位:男子67kg級	塚原 颯星	3 小 山 三
				ウエイトリフティング	5位:男子67kg級	野澤 幹太	1 小 山 三
				駅伝	男子 4位 (4区)	福井 涼介	3 三 島
			駅伝	男子 8位 (3区)	生田目 頼玖	3 三 島	

※県中学新記録

〔上位入賞数の推移〕

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
優勝	2	4	0	3	2	0	1	3	2	2	3	12	0	0	0	2	0	0	0	2
2位	0	1	1	2	0	2	2	2	0	5	2	6	0	0	1	3	2	1	1	3
3位	0	3	2	3	1	3	1	4	1	4	1	4	0	0	1	2	2	5	2	8
小計	2	8	3	8	3	5	4	9	3	11	6	22	0	0	2	7	4	6	3	13
合計	10		11		8		13		14		28		0		9		10		16	

〔4位～ベスト8の推移〕

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
4位～ベスト8	5	11	4	8	5	10	8	12	3	14	2	17	0	0	6	9	12	15	5	9
合計	16		12		15		20		17		19		0		15		27		14	
総計	26		23		23		33		31		47		0		24		37		29	

令和5(2023)年度全国高等学校総合体育大会等の上位成績

順位	団体				個人				
	競技	種目	性別	学校名	競技	種目	性別	氏名	学校名
優勝					ボクシング	ミドル級	男	シルバ イエシユア	作新
					水泳(競泳)	200m個人メドレー	男	松下 知之	宇南
					水泳(競泳)	400m個人メドレー	男	松下 知之	宇南
2位	スキー	女子学校対抗	女	足大附	レスリング	125kg級	男	福島 煌天	足大附
					スキー	男子回転	男	横尾 錬	足大附
					スキー	女子回転	女	大西 美琴	足大附
3位	体操競技	男子団体	男	作新	卓球	女子ダブルス	女	佐藤・東川	文星女
	ホッケー	男子団体	男	今市	柔道	100kg級	男	片山 涼	国学栃
					弓道	男子個人射詰	男	熊倉 貫太	作新
					レスリング	55kg級	男	奥那城 一輝	足大附
					自転車競技	500mタイム・トライアル	女	新沼 杏菜	作新
				スキー	女子回転	女	深澤 ひなた	足大附	
ベスト8以内	ライフル射撃	男子学校対抗ヒートライフル(4位)	男	真北陵	陸上競技	200m(4位)	男	若菜 敬	佐野
	サッカー	男子(ベスト8)	男	矢中央	体操競技	跳馬(5位)	男	柏木 寅瑠	作新
	ソフトテニス	女子団体(ベスト8)	女	白鷗	体操競技	平行棒(5位)	男	片山 空秋	作新
	ソフトボール	女子団体(ベスト8)	女	文星女	ウエイトリフティング	女子71kg級 クリーン&リフター(5位)	女	竹澤 菜々香	小山
	レスリング	男子学校対抗(ベスト8)	男	足大附	自転車競技	ケイリン(5位)	女	新沼 杏菜	作新
	テニス	男子団体(ベスト8)	男	足大附	体操競技	平行棒(6位)	男	吉田 優生	作新
					陸上競技	100mH(6位)	女	野村 美月	石橋
					陸上競技	円盤投げ(6位)	男	上沢 勇人	小山南
					ウエイトリフティング	女子71kg級 トータル(6位)	女	竹澤 菜々香	小山
					ライフル射撃	男子個人ヒートライフル(6位)	男	山本 卓聖	真北陵
					ウエイトリフティング	男子81kg級 スナッチ(6位)	男	知久 夢吏	小山南
					体操競技	あん馬(7位)	男	大島 凱	作新
					水泳(飛込)	男子飛板飛込(7位)	男	古谷 英成	宇南
					ウエイトリフティング	女子71kg級 スナッチ(7位)	女	竹澤 菜々香	小山
					カヌー	カヤックフォア(500m) (7位)	女	川島・藤田・金村・齋川	佐野東
					ウエイトリフティング	男子81kg級 トータル(8位)	男	知久 夢吏	小山南
					水泳(競泳)	200m背泳ぎ(8位)	男	松浦 幸大	宇南
					水泳(飛込)	女子高飛込(8位)	女	田所 三夏姫	宇南
					バドミントン	女子ダブルス(ベスト8)	女	遠藤・鈴木	作新
					柔道	73kg級(ベスト8)	男	若菜 晴樹	国学栃
				柔道	78kg級(ベスト8)	女	酒井 結海	国学栃	
				スキー	男子大回転	男	横尾 錬	足大附	
				スキー	女子大回転	女	大西 美琴	足大附	
				スキー	女子大回転	女	深澤 ひなた	足大附	
				スキー	女子回転	女	大貫 詩旺	足大附	

※軟式野球・ライフル射撃は全国高等学校選手権大会、ダンスは全日本高校・大学ダンスフェスティバルである。

※ゴシックは入賞の重複

【上位入賞数の推移】

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
優勝	0	3	1	2	0	5	0	0	3	3	0	1	0	0	2	1	0	9	0	3
2位	1	2	1	2	0	4	1	2	1	7	1	2	0	1	0	7	1	6	1	3
3位	0	4	0	2	2	2	1	2	1	3	1	4	0	0	2	5	1	8	2	6
小計	1	9	2	6	2	11	2	4	5	13	2	7	0	1	4	13	2	23	3	12
合計	10		8		13		6		18		9		1		17		25		15	

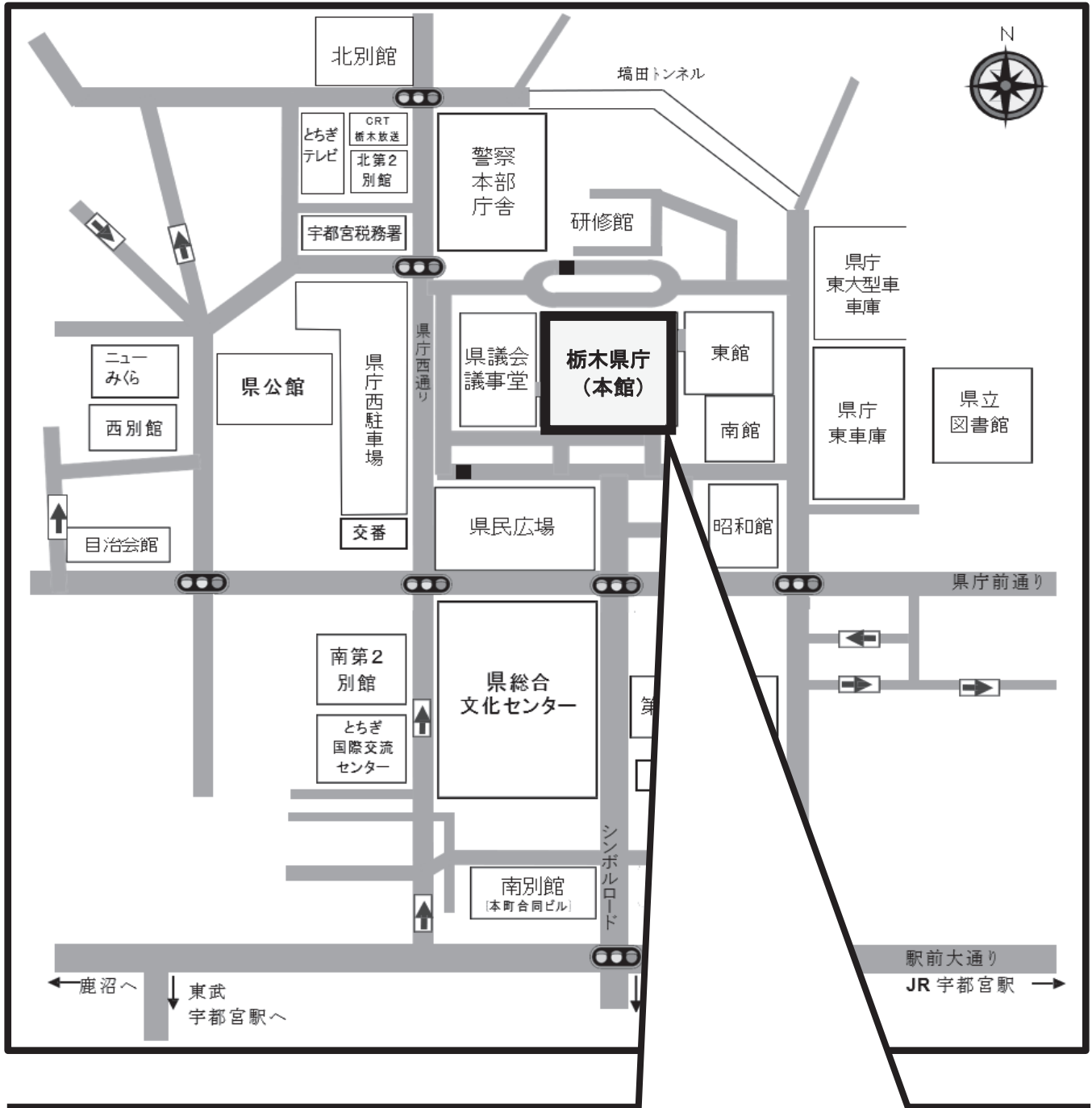
【4位～ベスト8の推移】

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
4位～8位	6	15	10	21	9	15	2	16	1	13	4	12	0	1	2	15	8	26	6	25
合計	21		31		24		18		14		16		1		17		34		31	
総計	31		39		37		24		32		25		2		34		59		46	

令和6(2024)年度高等学校運動部活動拠点校一覧(案)

No.	競技名		重点強化拠点校			強化推進拠点校			普及育成推進拠点校		
	男子	女子	男子	女子	男子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
	学校名	学校名	①学校名	②学校名	③学校名	①学校名	②学校名	③学校名	①学校名	②学校名	③学校名
1											
2	作新	白鷺	佐日大	文星附	白鷺	作新	矢中央	字中央	佐日中	小山	
3	宇工		文星附	宇北		作新	文星女	字中央	小山南		
4	足大附	文星女	作新	宇工	宇都宮	国学院	文星女	字中央	文星附	白鷺	作新
5	矢中央	白鷺	佐日大	宇短附	真岡	宇短附	白鷺	字中央	国学院	白鷺	
6	宇短附	真岡女	宇工	矢中央	文星附	宇短附	文星女		大田原		大女
7	青森斗	真岡女	作新	文星附	足利工	文星女	青森斗				
8	黒羽	宇短附	矢板	宇短附	国学院	作新	白鷺		大田原		
9	作新	宇短附	白鷺	宇短附	国学院	作新	白鷺				
10	国学院		石橋	鷹商工	宇工	文星女	柳木商	文星女	足利	宇短附	宇女
11	白鷺	宇南									
12	宇東	宇南									
13	足大附	足大附									
14	日明峰	日明峰									
15	白鷺	矢中央									
16	国学院		佐日大	作新	足大附	文星女	柳木商	佐日大	宇都宮	宇工	小城南
17	宇南	作新	作新	宇北	宇白鷺	宇北	宇短附	宇南	矢板	柳工	宇中央
18	白鷺	国学院	国学院	文星附	作新	足短附	作新	宇短附	新清峰	宇工	黒鷺
19	足大附	鹿沼	鹿沼	作新	鹿沼東	足大附	作新	宇女	宇都宮	柳木工	宇東
20	佐日大	小山	小山	文星附	白鷺	作新	白鷺	矢中央	宇都宮	真岡	鹿沼東
21									宇都宮	真岡	鹿沼東
22	小山南	小山南	小山	柳短附	小北隊	足利南	柳短附	星の社	宇都宮	真岡	柳木工
23	作新	白鷺	白鷺	宇南		作新			青森斗		
24	足大附	馬頭	馬頭	宇商	足利工	宇商					
25	作新	作新	作新								
26	足大附	作新	文星附			星の社					
27	宇南	宇中央	柳商	柳短附	宇中央	宇南	柳商	柳短附	鹿沼	鹿沼東	鹿沼
28	今市	今市	今市工			鹿沼東			鹿沼	真岡工	
29	作新	作新	宇商	宇短附	柳木工	宇商			佐津澄		
30											
31	鳥山	鳥山	鹿沼	馬頭							
32	佐野	佐野	佐野東	馬頭							
33	佐野東	佐野東	小山南	佐野東							
34	真北隊	真北隊	小山南	小山南							
35	宇白鷺	宇白鷺	宇工	作新	作新	作新					
他											
合計	34	26	25	19	15	26	15	11	16	12	10
				59	52		52		7	35	7
											24
											7

● 栃木県競技力向上対策本部事務局 案内図



栃木県競技力向上対策本部事務局 (栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課内)

◆所在地 〒320-8501
栃木県宇都宮市塙田1-1-20本館7階

◆電話 028-623-3368・3575
FAX 028-623-3411

関係連絡先一覧

● 栃木県競技力向上対策本部

<事務局> 栃木県競技力向上対策本部事務局 (栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課内)	〒 320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20 7階	TEL 028-623-3368・3575 FAX 028-623-3411
--	----------------------------------	---

● 国民スポーツ大会 各実行委員会

【第78回大会本大会】 SAGA2024実行委員会事務局	〒 840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59 SAGA2024企画広報チーム内	TEL 0952-25-7553
【第79回大会冬季大会／スケート(ショートトラック、フィギュア) ・アイスホッケー競技会】 「晴れて輝け！おかやま国スポ」 岡山県合同実行委員会事務局	〒 700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6 岡山県環境文化スポーツ振興課 国民スポーツ大会推進室	TEL 086-226-7475 FAX 086-226-7875
【第79回大会冬季大会／スケート(スピード)競技会】 「伊香保国スポ2025」 群馬県実行委員会	〒 371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県地域創生部スポーツ振興課 国民スポーツ大会準備室冬季大会係	TEL 027-226-4705
【第79回大会冬季大会／スキー競技会】 「あきた鹿角国スポ2025」 秋田県実行委員会事務局	〒 010-8570 秋田県秋田市山王4-1-1 秋田県観光文化スポーツ部 スポーツ振興課	TEL 018-860-1243 FAX 018-860-3876
【第78回大会関東ブロック大会】 第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 山梨県実行委員会	〒 400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課競技スポーツ担当	TEL 055-223-1784 FAX 055-223-1786

● 公益財団法人栃木県スポーツ協会

<事務局> 公益財団法人栃木県スポーツ協会	〒 321-0152 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 栃木県総合運動公園第2陸上競技場内	TEL 028-680-7771 FAX 028-615-5151
とちぎスポーツ医科学センター	〒 321-0152 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 カンセキスタジアムとちぎ内	TEL 028-645-2080 FAX 028-645-2030

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



保険の詳しい内容、資料の請求は、
 ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
 #放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
 #部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動		
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	個人活動補償型 A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下
大人 (高校生以上)	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
 (注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和6年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
 担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和6年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

V 栃木県競技力向上基本計画



令和5(2023)年3月

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部

【目 次】

はじめに ～計画改定の趣旨～	・ ・ ・ ・ ・ 1
第 1 章 改定の基本的な考え方	
1 計画の位置付け	・ ・ ・ ・ ・ 2
2 改定のポイント	
3 計画の期間	
第 2 章 これまでの取組の成果と課題	
1 組織体制の整備・拡充	・ ・ ・ ・ ・ 3
2 選手の発掘・育成・強化	
3 指導者の養成・資質の向上	・ ・ ・ ・ ・ 4
4 競技力向上のための環境整備	・ ・ ・ ・ ・ 5
第 3 章 栃木県の競技力向上のための具体的な取組	
1 計画の目標	・ ・ ・ ・ ・ 6
2 競技力向上のための 4 つの柱	
3 具体的な取組	
I 競技力の維持・組織運営体制の強化	
II 次世代アスリートの発掘・育成・強化	・ ・ ・ ・ ・ 7
III 指導者の養成・資質向上	・ ・ ・ ・ ・ 8
IV スポーツ医・科学の活用	・ ・ ・ ・ ・ 9
第 4 章 競技力向上基本計画の推進体制	
1 推進体制	・ ・ ・ ・ ・ 10
2 競技団体における強化の取組	

はじめに ～ 計画改定の趣旨 ～

第77回国民体育大会栃木県競技力向上対策本部(以下「対策本部」という。)では、平成27(2015)年3月に策定(平成29年4月一部改定)した「栃木県競技力向上基本計画(Tochigi Victory Plan)」に基づき、第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体(以下「とちぎ国体」という。)での天皇杯・皇后杯獲得を目指して本県の競技力向上に向けた対策を講じて参りました。その結果、とちぎ国体では男女総合成績・女子総合成績ともに第2位という成績を残すことができました。また、県では平成28(2016)年2月に策定した「栃木県障害者スポーツ選手等育成・強化基本計画(TOCHIGI CHALLENGE PLAN)」に基づき、本県障害者スポーツの一層の振興を図り、第22回全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会「以下「とちぎ大会」という。」で過去最多のメダルを獲得するなど、とちぎ国体・とちぎ大会(以下「両大会」という。)での本県選手団の活躍は県民に感動や勇気を与えました。

現在、本県では、「スポーツを通じて夢や感動を共有しスポーツで人生を豊かにする“とちぎ”の実現」を基本理念とする「栃木県スポーツ推進計画2025」に基づき、「する」「みる」「ささえる」といった多様な形でのスポーツ参画人口を増やし、県民総スポーツ社会の実現を目指す取組を進めています。また、令和5(2023)年3月に策定する「とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略」に基づき、県、市町、スポーツ団体、民間企業等で構成するスポーツコミッションを設立し、大規模大会・スポーツ合宿等の誘致や県内外の交流人口の拡大等に取り組むこととしています。

一方、対策本部では、国内大会はもとより、オリンピック・パラリンピック競技大会を含む国際大会等で躍動する本県ゆかりのアスリートを数多く輩出することが、県民の誇りや感動につながり、子どもたちに大きな夢を与えることから、両大会の開催を通じて得られた数々の成果を一過性のものとしないう、「スポーツ・レガシー」を継承しながら、効果的に競技力向上を図るため、前計画での取組を生かすとともに、社会や時代の変化に即して必要な見直しを行い、栃木県競技力向上基本計画を改定いたしました。

今回改定する栃木県競技力向上基本計画では、「栃木県スポーツ推進計画2025」における施策の柱の1つである「国民体育(スポーツ)大会・全国障害者スポーツ大会や国際大会等で活躍する選手の育成」を念頭に置きながら、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」の重点的取組として位置付ける「両大会を契機とした高い競技力の確保」に取り組んで参ります。

第1章 改定の基本的な考え方

1 計画の位置付け

前計画は、とちぎ国体における天皇杯・皇后杯の獲得という目標を達成するため、本県の選手の育成・強化や指導者の養成及び環境整備等に関する基本的な考え方、方向性を示した指針として策定し、対策本部が中心となり関係団体と連携・協力しながら各種競技力向上事業に取り組んできた。

本計画は、両大会終了後の安定した競技力の確保及び本県の恒久的なスポーツの振興を目指し、競技スポーツを推進していくための具体的な指針として位置付ける。

2 改定のポイント

両大会での好成績を一過性のものとせず、本県において持続可能な競技力向上を図っていく必要がある。前計画に基づく取組の多くは有意義なものであり、以下4つのポイントを中心に必要な見直しと改定を行うことで、継続的に競技力の向上に取り組む。

(1) 国民体育（スポーツ）大会のみにとらわれない競技力向上

国民体育（スポーツ）大会のターゲットのみに焦点を当てた強化ではなく、幅広い世代や競技種目の競技力向上も視野に入れ、オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会等をはじめとする各種国際大会等で本県ゆかりのアスリートが活躍できるよう支援する。

(2) 持続可能なアスリート発掘・育成・強化システムの確立

県内の競技団体が継続して競技力の向上を図ることができるよう、指導者養成と次世代アスリート育成を両輪とする持続的なアスリート発掘・育成・強化システムの確立に対する支援に努める。

(3) スポーツ医・科学の活用

効果的に競技力の向上を図るためには、科学的根拠に基づく発掘・育成・強化が不可欠であることから、多くのアスリートが質の高いスポーツ医・科学、情報等によるサポートを受けられる環境の実現に対する支援に努める。

(4) 時代に即した進化

社会の変化や状況に応じて競技力の向上を図る必要があることから、DX、スポーツインテグリティの向上、競技団体のガバナンス強化・コンプライアンス徹底、多様性を認め合う環境づくり等を通じて関係団体等の連携・協力によるプレーヤーズセンタードの視点に立った体制強化の支援に努める。

3 計画の期間

本計画は、栃木県スポーツ推進計画2025の計画期間（2021年から2025年までの5年間）と整合を図り、令和5（2023）から令和7（2025）年までの3年間を計画期間とする。

第2章 これまでの取組の成果と課題

1 組織体制の整備・拡充

【具体的な取組・成果】

- 平成26(2014)年5月に設置した対策本部を中心に、公益財団法人栃木県体育協会（現公益財団法人栃木県スポーツ協会、以下「県スポーツ協会」という。）や競技団体、学校体育関係団体等と緊密な連携を図りながら、選手強化に係る予算の充実及び有効な事業実施を通して競技力向上に取り組んだ。
- 競技団体が行う強化計画作成に対する支援や競技団体の組織力を高めるための講習会を開催するなど、競技力向上対策を効果的に実施するために必要な組織の整備・充実並びに関係組織間の連携強化を図った。

育成期			充実期			完成期		
H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4
栃木県競技力向上対策本部の充実・強化								
競技力向上事業を対策本部事業に一本化								
競技団体スキルアップ事業			強化計画推進事業		チームとちぎ育成強化事業に組入			
成年種別強化等検討部会の開催								
								とちぎ 国体

- 平成27(2015)年10月に設置した栃木県障害者スポーツ選手等育成・強化委員会を中心に特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会や障害者団体、競技団体、特別支援学校等と緊密な連携を図りながら、選手強化に係る効果的な事業実施を通して選手の競技力向上に取り組んだ。

拡大期		育成期			強化期		
H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4
選手層の拡大、チーム設立等							とちぎ 大会
選手の底上げ、チーム力・個人技術等の育成				技術等のレベルアップ			

【今後の課題】

- ◇競技団体の健全な組織運営によるスポーツの価値向上
- ◇スポーツ関係諸団体との継続的な連携・協力による効果的な強化体制の再構築
- ◇両大会のレガシー継承・発展を目指す市町や県内競技団体との連携・協力体制の構築

2 選手の発掘・育成・強化

【具体的な取組・成果】

- 競技団体が実施する強化事業に対して柔軟かつ戦略的に支援をしたほか、全国トップレベルの指導者等から指導を受ける機会を設け、本県競技力の向上に貢献した。
- 成年種別はスポーツ専門員の配置や、就職支援による優秀な選手の確保のほか、有望選手・チームへの強化支援を通じて多数の入賞者を輩出した。
- 少年種別は計画的なターゲットエイジの育成・強化や運動部活動拠点校への支援に加え、適性競技種目を見出すために新たな才能を発掘・育成する取組を行い、多数の入賞者を輩出した。

○女性アスリート特有の健康問題を予防・改善するために研修会を開催したほか、女性アスリートに対して血液検査から栄養指導等へ繋げ、女子種別の競技力向上に貢献した。

育成期			充実期			完成期			
H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	
ジュニアアスリート育成強化事業						ターゲットエイジ強化			とちぎ 国体
チームとちぎジュニア選手認定			中学生を追加						
			タレント発掘・育成事業						
			中学校・高等学校拠点校指定						
			ジュニアチーム・選手指定						
競技カランクアップ支援			チームとちぎ育成強化事業						
新規導入競技サポート事業									
アドバイザーコーチ招へい事業									
有望チーム指定									
有望選手指定									
ふるさと選手支援						チームとちぎ育成強化事業へ組入			
女性アスリート支援									
とちぎアスリートキャリアサポートセンター開設									
スポーツ専門員配置事業									

○本県障害者スポーツの一層の振興を図るために策定した「栃木県障害者スポーツ選手等育成・強化基本計画」に基づき、団体競技チームの定着支援、強化指定選手の任命など、計画的に選手の育成・強化を図り障害者スポーツの振興に貢献した。

【今後の課題】

- ◇両大会を契機とした高い競技力の確保
- ◇競技団体等による強化事業の継続的实施
- ◇ジュニア選手に対する「発掘→育成→強化」まで続く競技団体の一貫指導体制の再構築
- ◇優れた才能を持つ児童の発掘・育成を踏まえた中・長期的な育成計画の構築
- ◇部活動の地域移行を見据えた地域クラブチーム等を考慮した強化システムづくり

3 指導者の養成・資質の向上

【具体的な取組・成果】

○強化指定コーチを指定し競技団体ごとの指導体制の整備を図り、競技団体の垣根を越えて「チームとちぎ」の強化ネットワークを構築したほか、最新かつ実践的な指導者向けの講習会や研修会の開催により指導者の資質向上を図った。

○学校部活動への指導者の適正配置及び教員採用試験におけるスポーツ特別採用枠で優秀な人材を教員として採用した。

育成期			充実期			完成期			
H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	
国体指導者養成事業						チームとちぎ育成強化事業に組替			とちぎ 国体
強化指定コーチ認定									
ジュニア指導者育成			戦略的指導者養成						
優秀指導者の確保と適正配置									

○「栃木県障害者スポーツ選手等育成・強化基本計画」に基づき、練習会等に参加する指導者に

対し、競技団体やチームの専門性を生かした効果的な選手育成のために必要な講習会や研修会への参加支援等を行い、指導者の資質向上を図った。

【今後の課題】

- ◇両大会で監督を務めた指導者の後継者となる次世代を担う指導者の養成
- ◇指導者が少ない競技団体における指導者の確保
- ◇スポーツ専門員を含む両大会出場選手を指導者として活用した強化体制の再構築
- ◇女性アスリート特有の健康課題等に関する指導者等へのさらなる理解促進

4 競技力向上のための環境整備

【具体的な取組・成果】

- 国民体育大会で選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようアスレティックトレーナー等を各競技会場に派遣したほか、とちぎスポーツ医科学センター（以下「TIS」という。）の利用促進を図ることで医・科学的知見のもと効率的・効果的な競技力向上に貢献した。
- 競技普及や選手育成強化のために必要と認められるスポーツ用具を整備したほか、国民体育大会の会場地となる施設を強化練習等で優先的に利用できるよう調整する取組により、選手・指導者が活動しやすい環境の整備を図った。

育成期			充実期			完成期		
H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4
スポーツ医科学サポート						とちぎ 国体		
TIS利用支援事業								
スポーツ用具整備								
スポーツ情報の発信								
戦力分析・データ収集等								
施設の優先利用								

- 「栃木県障害者スポーツ選手等育成・強化基本計画」に基づき、育成・強化に必要なスポーツ用具を整備したほか、練習等をサポートするため障害者スポーツボランティアとの連携を図り、選手・指導者が活動しやすい環境の整備を図った。

【今後の課題】

- ◇TISを活用した選手・指導者に対するサポートのより一層の充実
- ◇選手・指導者が活動しやすい競技環境づくり
- ◇両大会に向けて整備したスポーツ用具の使用に適した水準の維持・確保
- ◇障害者スポーツの裾野拡大及び積極的な社会参加機会の創出

第3章 栃木県の競技力向上のための具体的な取組

1 計画の目標

- 持続可能な競技力の向上を図っていくため、県内の競技団体におけるアスリート発掘・育成・強化システムの確立
- 国民体育（スポーツ）大会の総合成績における上位の維持
- オリンピック・パラリンピック競技大会に代表される各種国際大会等に本県ゆかりのアスリートを多数輩出

2 競技力向上のための4つの柱

上記の目標を達成するため、具体的に以下の方針のもと取り組むこととする。

I 「競技力の維持・組織運営体制の強化」

両大会のレガシーを生かして、高い競技力の確保と、県内競技団体の健全な組織運営及び関係組織間のより一層の連携を図る。

II 「次世代アスリートの発掘・育成・強化」

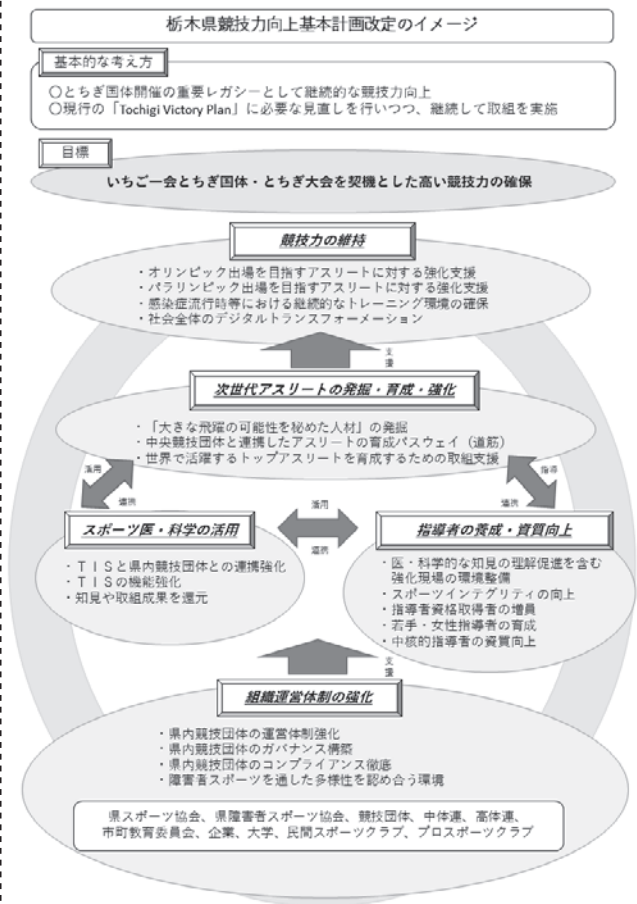
大きな可能性を秘めた次世代アスリートを発掘し、世界で活躍するアスリートの輩出を目指して育成・強化を図るとともに、将来を見据えた競技力の底上げを図る。

III 「指導者の養成・資質向上」

計画的な指導者の資質向上に加え、指導者資格取得者を増やすことで、持続可能な指導体制の構築を図る。

IV 「スポーツ医・科学の活用」

TIS等の関係機関と連携を図り、アスリートや指導者に対する競技力向上に有効な医・科学支援の質の向上及び支援対象範囲の拡大を図る。



3 具体的な取組

I 競技力の維持・組織運営体制の強化

(1) 競技団体の強化支援及び組織運営・指導体制への支援

両大会で高まった競技力の維持及び更なる向上を目指して、競技団体が実施する強化

事業の取組を支援するとともに、各競技団体が継続して競技力向上を推進する組織体制づくりを支援する。

(2) トップアスリートの確保及び強化支援

- ① 2024年パリオリンピック・パラリンピック、2026年ミラノ冬季オリンピック・パラリンピックへ本県ゆかりのアスリートを多数輩出することを目指す。
- ② 県内企業等に対して優秀な選手の受け入れやチーム設立等に向けた協力依頼を行い、トップアスリート等の県内定着を促進し、競技との両立を図れるよう支援する。
- ③ 本県競技力向上への貢献が期待でき、ジュニア選手等の育成・強化の指導に従事するアスリートの就職支援等を通じて、アスリートの活動支援並びに有望な次世代アスリートの輩出を目指す。

(3) スポーツ環境整備

- ① 女性アスリートの育成・強化に役立つデータや情報を選手・指導者・保護者等に提供することで、特有の健康障害を予防し、選手が試合等において最高のパフォーマンスを発揮できるよう支援する。
- ② 障害者がスポーツを実施しやすい環境の整備に努める。
- ③ デジタル技術の活用等により、継続的な強化事業の取組を行うことができる環境の整備に努める。
- ④ 特殊なスポーツ用具の整備に努め、競技及び練習環境の改善を図る。
- ⑤ 両大会の競技会場となった各市町が競技団体と連携して行う、地域に根ざしたスポーツクラブの育成やスポーツ教室等の事業を推進し、特色ある地域スポーツの普及・振興を図る。

(4) ガバナンス（統治能力）の強化とコンプライアンス（法令遵守）の徹底

県スポーツ協会等と連携し、必要に応じて競技団体の組織運営等に関する助言やスポーツインテグリティ（高潔性や健全性）を高める取組の情報提供など、競技団体の健全な組織運営を促進する。

(5) 対策本部と関係団体等との連携強化

対策本部を維持し、両大会のレガシーを生かした競技力向上事業を積極的に推進できるよう、競技団体及び関係団体と相互に連携し、協力体制の強化を図る。

II 次世代アスリートの発掘・育成・強化

(1) 次世代アスリートへの強化支援

- ① 世代の枠を超えて共に強化練習を実施するなど、両大会で培ったジュニア世代の発掘・育成・強化のノウハウを生かし、将来性豊かなジュニアアスリートの競技力向上

に取り組む競技団体を支援する。

- ② 両大会の成果を継承し、競技の特性や活動環境、学校運営の実情等に応じて高い競技力や他にない特色を持つ高校の有力な運動部が行う強化事業等を支援する。
- ③ 「学校部活動および新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、競技志向の選手が競技力向上に取り組む場を選択できるよう新たなスポーツ環境の整備に努める。

(2) とちぎ未来アスリートプロジェクト

- ① 将来、国民スポーツ大会や国際大会で活躍する選手を輩出するとともに、本県スポーツ界の次代を担う人材を養成することを目指し、優れた才能を持つ児童を発掘・育成し、その能力を最大限発揮できる競技を見つける機会を提供する。
- ② 国や中央競技団体等が実施する全国規模のタレント発掘事業に対策本部として積極的に参加し、関係団体との連携や最新情報を収集するとともに、競技適性を認められた選手が県内外のコーチから適切な指導を受けられるよう各競技団体への橋渡し及び助言を行う。

Ⅲ 指導者の養成・資質向上

(1) 各種研修会等の開催

- ① 県内の競技団体における中核的指導者を対象とし、最新の指導技術等を学ぶための各種研修会や競技の垣根を超えた交流の場を設けることで、県内指導者の資質向上を図るとともに、公認指導者資格の取得を推進し指導体制の充実を図る。
- ② 卓越した指導力を有する競技団体トップレベルのコーチ等を招へいして、最新の指導理論や方法等を学ぶことにより、若手指導者や女性指導者をはじめ多くの県内指導者がスキルアップできる機会を創出する。

(2) 優秀な指導者の確保及び配置

優れた競技経験・技術を有し指導者としても優れた手腕を発揮することが期待される選手をスポーツ指導員として活用し、効率的かつ効果的な配置により次世代アスリートの指導を中心に本県選手の強化を図る。

(3) スポーツインテグリティ（高潔性や健全性）の向上

競技力向上に加えてアスリート等の人間的成長を促すことができるよう、スポーツの価値を脅かす暴力やドーピング、不法行為等を行わない倫理観や規範意識を兼ね備えた指導者の養成を図る。

IV スポーツ医・科学の活用

(1) TISの活用

- ① 県内の競技団体への医・科学的側面からの支援をより一層促進し、効果的・効率的に競技力の向上を図ることができるよう、最先端の機器による測定データに基づく各種サポートの提供、メンタルトレーニングや栄養サポート等の利用に対する支援の充実を図る。
- ② TIS 開所以来国体強化指定選手等を対象として蓄積してきたデータや知見を活用し、県大会出場レベルや学校運動部活動の選手層までスポーツ医・科学支援の対象拡大を図る。
- ③ 女性アスリートが抱える悩みを解決できるよう相談窓口を充実させ、TIS 協力ドクターやTIS 協力栄養士と連携しサポートに努める。

(2) スポーツ医・科学分野の専門人材の活用

- ① 競技力向上事業や大会等にトレーナー等を派遣することで選手のコンディショニングサポートの充実を図る。
- ② スポーツ医・科学支援を担う人材に対して研修会等を実施し、資質向上を図るとともに各分野の専門人材の育成に努める。

年度	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)
計画推進	とちぎ国体 とちぎ大会 開催	I 競技力の維持・組織運営体制の強化 II 次世代アスリートの発掘・育成・強化 III 指導者の養成・資質向上 IV スポーツ医・科学の活用		
目標		●国民体育(スポーツ)大会での上位維持 ●各種国際大会等への多数の選手輩出	2024パリ オリンピック パラリンピック	2026ミラノ冬季 オリンピック パラリンピック
県	とちぎ未来創造プラン (R3~R7) ●いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を通じた人づくり			
教育委員会	とちぎ教育ビジョン (R3~R7) ●いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機としたスポーツの推進			
スポーツ 推進計画	とちぎスポーツ推進プラン (R3~R7) ●国民体育(スポーツ)大会・全国障害者スポーツ大会や 国際大会等で活躍する選手の育成 ○次世代アスリートの発掘・育成・強化 ○トップアスリートの強化・確保 ○競技力向上のための環境整備 ○安全でクリーンでフェアなスポーツの推進			

各種プラン・計画等の見直し

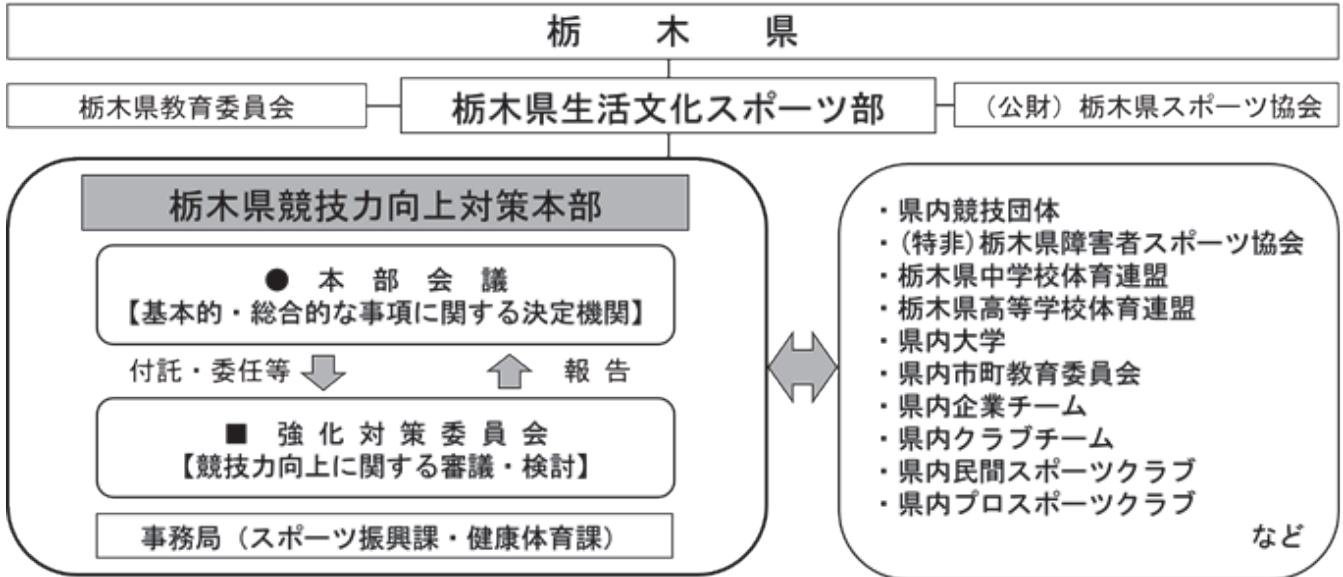
▲栃木県競技力向上基本計画 推進イメージ

第4章 競技力向上基本計画の推進体制

1 推進体制

対策本部は、本計画に基づき、本県の競技力向上事業を計画的かつ着実に推進するため、県、市町、県スポーツ協会、競技団体、学校体育団体、大学、民間企業、産業・経済界及びクラブチームなどと緊密に連携・協力を図り、オールとちぎで競技力向上に取り組む。

栃木県競技力向上対策本部 組織図

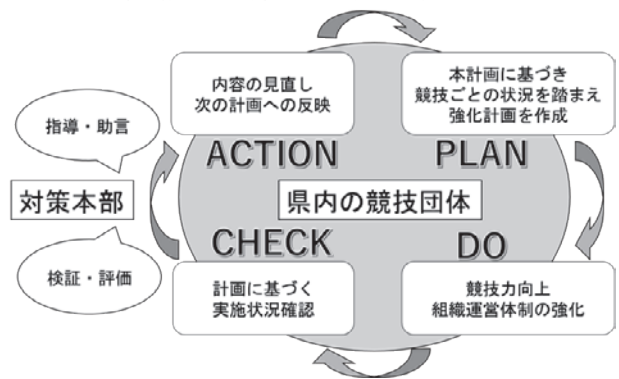


2 競技団体における強化の取組

県内の競技団体は、とちぎ国体まで本県アスリートや競技関係者が着実に取り組んできた努力の成果を貴重なレガシーとして確実に継承・発展させ、本計画に基づき、より一層の競技力向上や組織運営体制の強化に取り組む。

対策本部は、各競技団体における競技力向上対策の取組状況や活動内容等を検証・評価し、結果に基づき、県スポーツ協会と連携して、競技団体に指導・助言を行う。

競技団体における競技力向上基本計画の推進イメージ



【競技団体の取組状況等について検証・評価する主な内容】

- とちぎ国体に向けた取組の成果と今後の課題
- 競技ごとの状況を踏まえた目標（成績）と重点的に取り組むべき事項
- 中・長期的な普及・強化スケジュールと具体的な取組内容
- プレーヤーズセンターの視点 ほか

TOCHIGI



